2026年12月期
第3四半期決算説明資料

ビリングシステム株式会社

2026年11月6日

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

2026年12月期第3四半期 決算サマリー

ハイライト

- ベースラインの業績堅調：前年同期比**増収増益。第3四半期としては過去最高**
- いくつかの想定外：セキュリティ対応、新型決済端末の市場投入の遅れ、取手事務センターの拡張移転

2026/12期3Q 業績

業績

- **売上高：** 3,808百万円（前年同期比 114.4%）
- **営業利益：** 600百万円（前年同期比 137.7%）
- **経常利益：** 646百万円（前年同期比 148.4%）

KPI

・PayB提携金融機関数（累計）	**：94機関**	**（2Q末比＋4機関）** ※内定先含む
・PayB提携収納機関数（累計）	**：19,159件**	**（2Q末比＋117件）**
・ストック売上（1-9月累計）	**：3,284百万円**	**（前年1-9月比 107.4%）**
・ストック比率（1-9月累計）	**：86.2%**	**（前年1-9月は、91.9%）**

トピック

事業

- PayBの金融機関・収納機関ネットワーク拡大。法人領域への展開も進み、決済機会とストック売上のさらなる拡大へ
- 三菱UFJファクター、三菱UFJ銀行との協働により、マルチバンク即時口座振替サービス「**ワイドネットゼロ**」の提供を開始。金融機関接続・即時決済基盤を活かし、企業の資金回収領域へ事業拡張
- 「**Billing BOX**」の本格展開を開始。**xIDとの連携**で、通知・本人確認・決済・収納をつなぐ請求DX基盤へ進化
- 新型決済端末「PT-10Pro」は開発・製造は計画どおり進捗する一方、決済センターとの接続に伴う国際ブランドテスト等に時間を要し、販売開始が当初予定から遅延

その他

- 受注拡大に伴い取手事務センターの強化と事業拡大のため移転予定。**関連費用が第4四半期に一部発生見込み**
- セキュリティ対策を事業継続上の重要課題と位置づけ、**脆弱性診断・検知監視・復旧体制等の強化を推進中**
- 金利上昇により**営業外収益の受取利息が増大**

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

目次

Billing System
ビリングシステム株式会社

01	四半期業績	P4
02	ビジネスアップデート	P19
03	通期見通し	P31
04	Appendix	P38

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

01

四半期業績

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

2026年12月期　第3四半期　業績

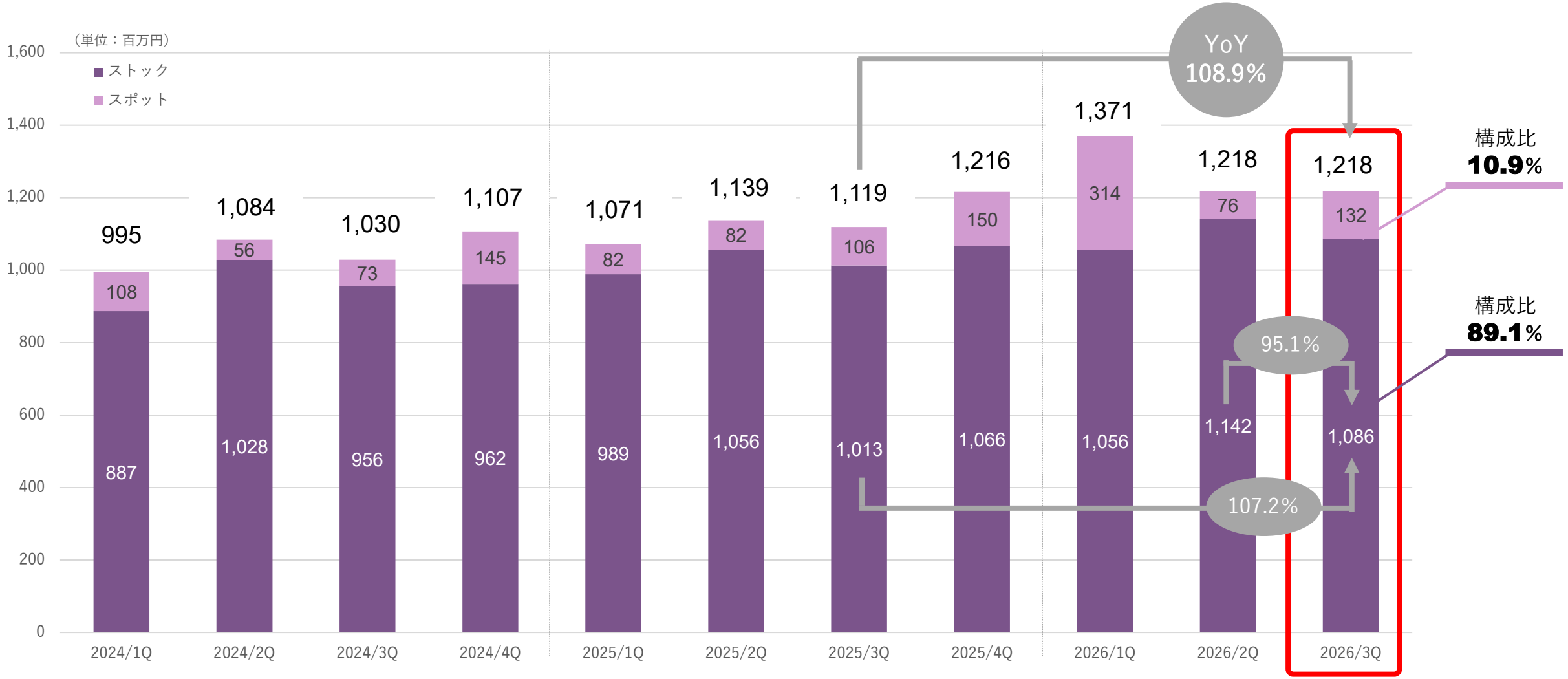
- 売上・利益ともに昨年実績を上回り、**増収増益**での着地（**第3四半期としては過去最高**）
- **売上総利益率は前年同期比+4.3ポイント改善の39.0%**となり、上半期につづいて好調に推移
- **各段階利益も堅調に推移**し、通期業績に対する進捗率は昨年実績を上回り、**成長基調を維持**

（金額単位：百万円）	2025/12期 第3四半期累計実績	2026/12期 第3四半期累計実績	前年同期比	2026/12期 通期業績予想	進捗率
売上高	**3,330**	**3,808**	114.4%	**5,607**	67.9% （前年同期の進捗率は69.5%）
売上総利益	**1,156**	**1,484**	128.4%	–	
売上総利益率	**34.7%**	**39.0%**	+4.3ポイント	–	–
販管費	**719**	**883**	122.7%	–	–
営業利益	**436**	**600**	137.7%	**929**	64.6% （前年同期の進捗率は58.2%）
営業利益率	**13.1%**	**15.8%**	+2.7ポイント	–	
経常利益	**435**	**646**	148.4%	**926**	69.8% （前年同期の進捗率は58.4%）
経常利益率	**13.1%**	**17.0%**	+3.9ポイント	–	
当期純利益	**272**	**412**	151.1%	**584**	70.4% （前年同期の進捗率は58.6%）
当期純利益率	**8.2%**	**10.8%**	+2.6ポイント	–	
EPS（円）	**43.36**	**65.98**	152.1%	**93.01**	70.9% （前年同期の進捗率は58.7%）

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

ストック/スポット売上の推移

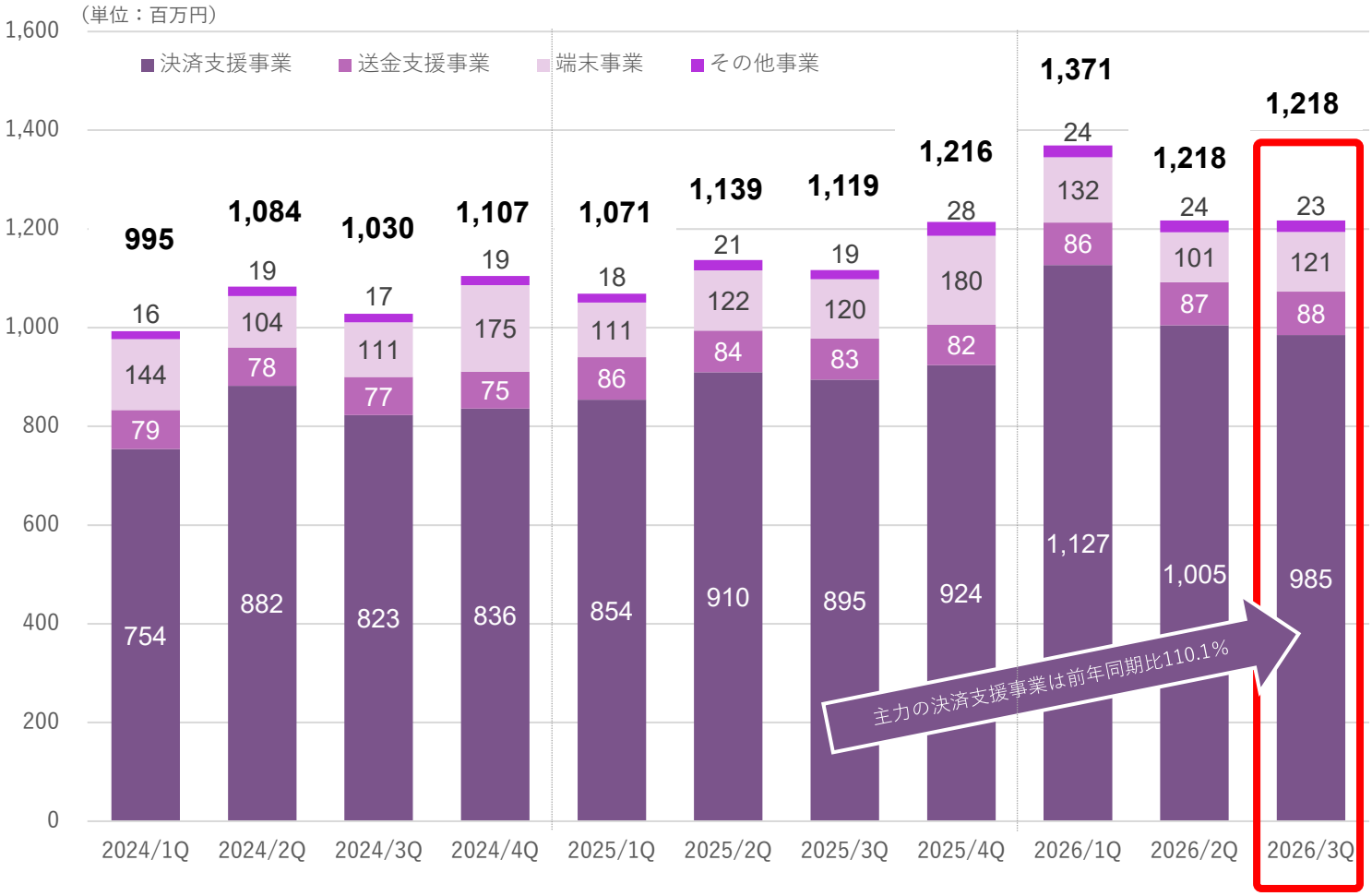
- 例年、第3Qは第2Qの自動車税需要の反動により減収傾向となる中、今期はスポット案件が寄与し第2Q並みの売上水準を達成
- ストック売上は**前年同期比107.2%の1,086百万円**となり、**構成比も89.1%**と適正レンジ

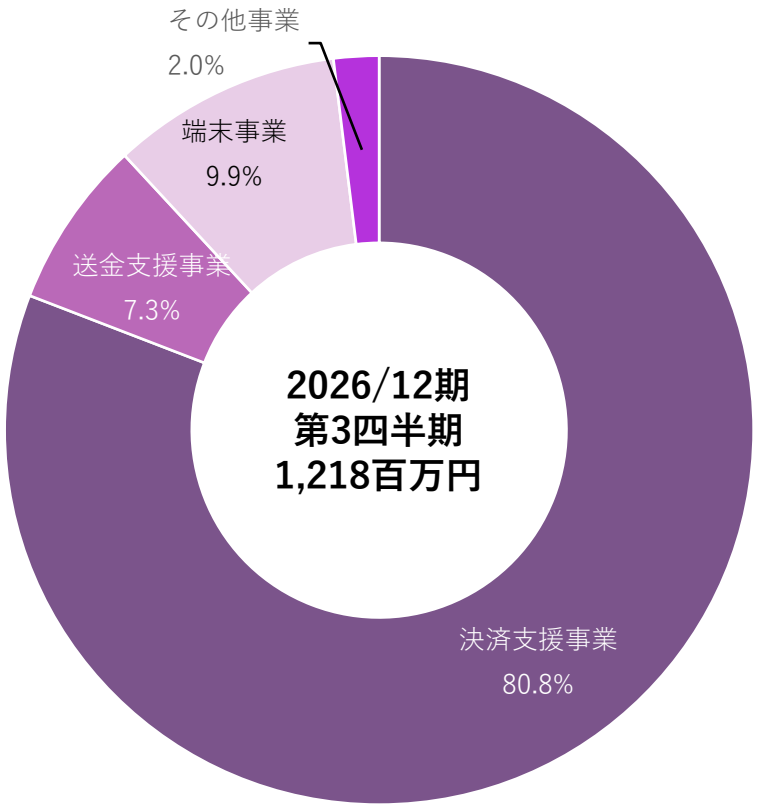


Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

セグメント別の売上の推移・構成比

● 売上構成は、収納代行、クイック入金、PayBなど、主力の**「決済支援事業」が前年同期比110.1%と伸長**





Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

セグメント別の売上の推移（数値データ）

（単位：百万円）

セグメント		売上	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年 1Q	2026年 2Q	2026年 3Q
決済支援	・PayB ・クイック入金 ・収納代行 ・スマホマルチ	ストック	2,385	2,735	3,235	3,475	890	971	918
		スポット	323	128	58	109	236	33	67
		小計	2,708	2,863	3,293	3,584	1,127	1,005	985
送金支援	・送金代行 ・公共料金 ・PayB for Business	ストック	250	298	308	333	86	87	85
		スポット	5	10	1	3	0	0	3
		小計	255	308	309	336	86	87	88
端末	・キャッシュレス端末	ストック	123	127	216	237	57	59	58
		スポット	286	417	319	298	75	42	62
		小計	409	544	535	535	132	101	121
その他	・ファイナンス等 ・その他	ストック	51	58	72	78	21	24	23
		スポット	7	2	2	9	2	0	0
		小計	58	60	74	87	24	24	23
合計		ストック	2,812	3,221	3,835	4,125	1,056	1,142	1,086
		スポット	622	561	383	421	314	76	132
		合計	3,434	3,782	4,218	4,546	1,371	1,218	1,218

決済支援事業

クイック入金・収納代行・PayB

- 決済件数の着実な積み上がりによる構造的な事業成長を実現しております。

送金支援事業

公共料金支払代行・PayB for Business

- **PayB for Businessの利用拡大が着実に進展**
- 公共料金分野も安定的に増加

端末事業

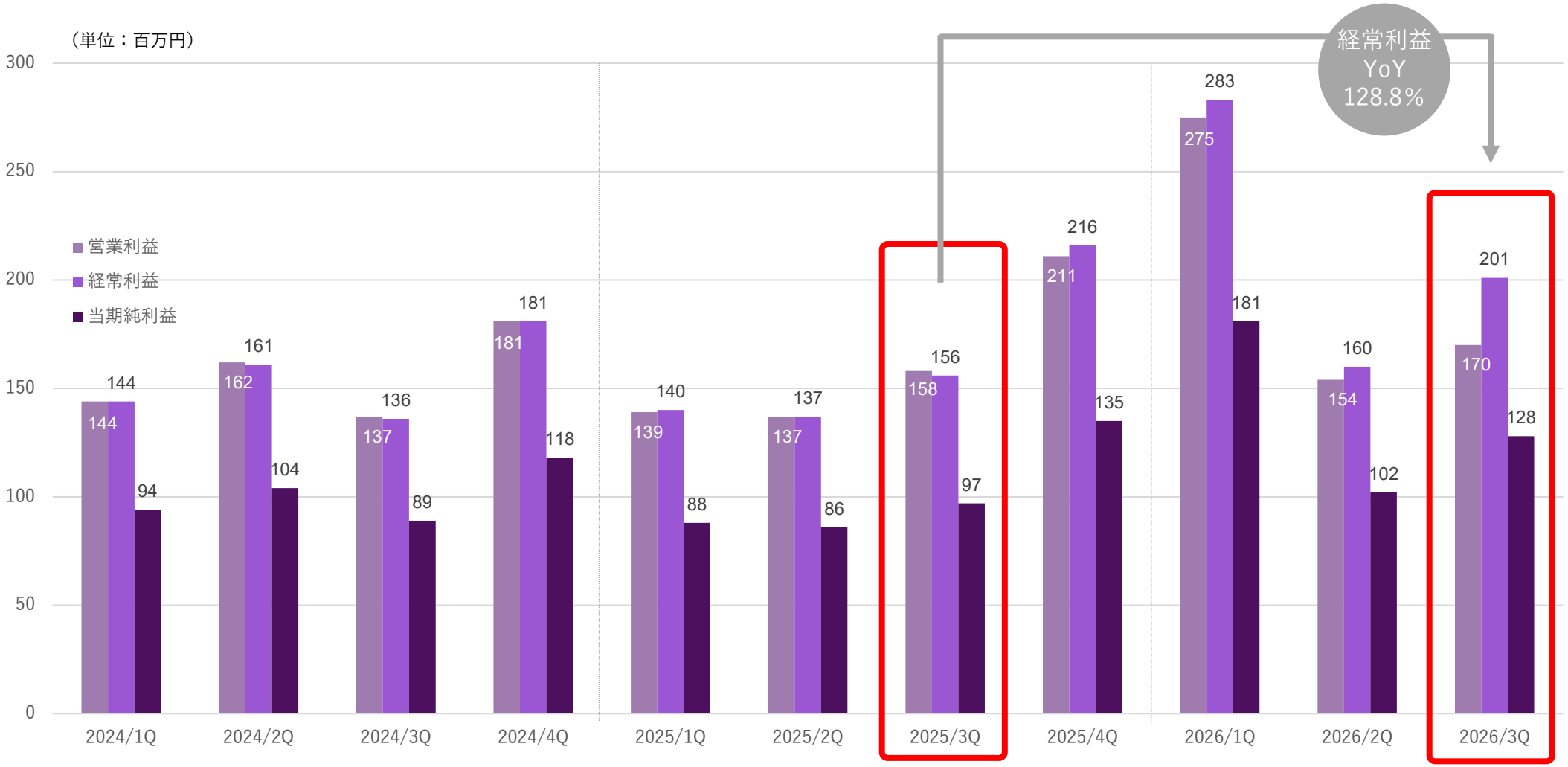
キャッシュレス端末

- **PT-10Proは国際カードブランドによる接続試験・ブランドテストの遅延**により提供開始が後ろ倒し
- 端末開発・製造は順調で、引き合いも強い状況

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

営業利益・経常利益・当期純利益の推移（四半期）

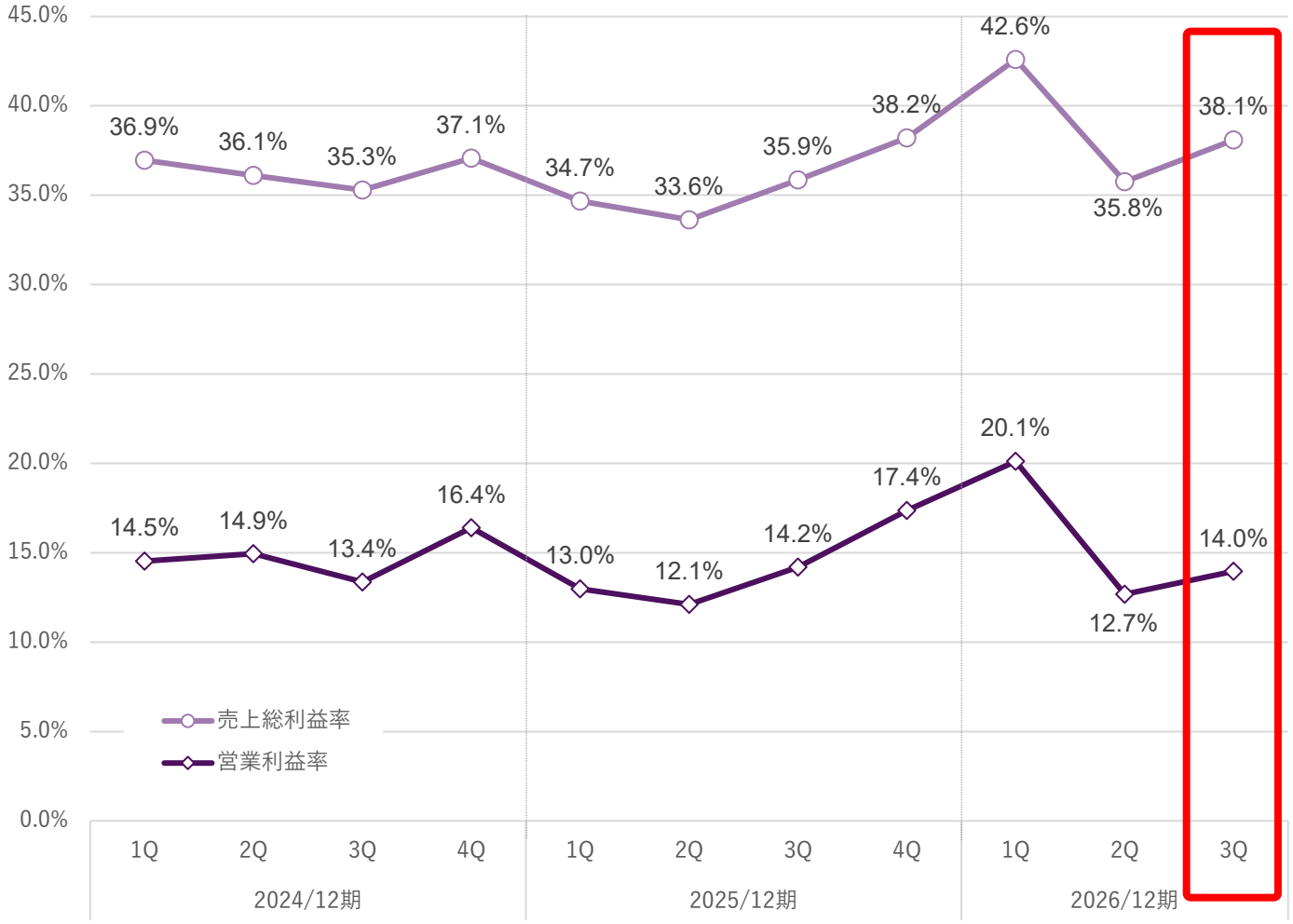
- 増収にともない、営業利益・経常利益・当期純利益ともに**前年同期比 増益（第3四半期として過去最高）**
- 預金金利の上昇により**受取利息を計上**したことで、**経常利益は前年同期比128.8%**



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

売上総利益率および営業利益率の推移（四半期）

売上総利益率及び営業利益率の四半期推移



- **売上総利益率は38.1%**（前年同期比＋2.2ﾎﾟｲﾝﾄ）、**営業利益率14.0%**（前年同期比-0.2ﾎﾟｲﾝﾄ）と高水準で推移
- 売上総利益率の改善は、利益率の高いスポット案件の計上による
- 売上総利益率に比べて営業利益率の改善がゆるやかなのは、支払手数料や人件費等の先行投資によるもの

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

貸借対照表

（金額単位：百万円）	2025/12期 3Q末(①)	2025/12期 4Q末(②)	2026/12期 3Q末(③)	前年同期比 (③/①)	前期末比 (③/②)
流動資産	28,489	29,740	29,568	103.8%	99.4%
固定資産	440	406	430	97.7%	105.9%
資産合計	28,929	30,146	29,998	103.7%	99.5%
流動負債	25,758	26,828	26,491	102.8%	98.7%
固定負債	32	41	33	103.1%	80.5%
負債合計	25,791	26,869	26,525	102.8%	98.7%
株主資本	2,963	3,099	3,286	110.9%	106.0%
その他	36	33	29	80.6%	87.9%
非支配株主持分	138	144	157	113.8%	109.0%
純資産合計	3,138	3,276	3,473	110.7%	106.0%
自己資本比率 (預り金を控除した自己資本比率)	**10.4% (80.1%)**	**10.4% (79.1%)**	**11.1% (77.3%)**	**0.7ポイント (-2.7ポイント)**	**0.7ポイント (-1.7ポイント)**

預り金とその見合いの現金
約257億円を含む

借入金など
有利子負債はありません

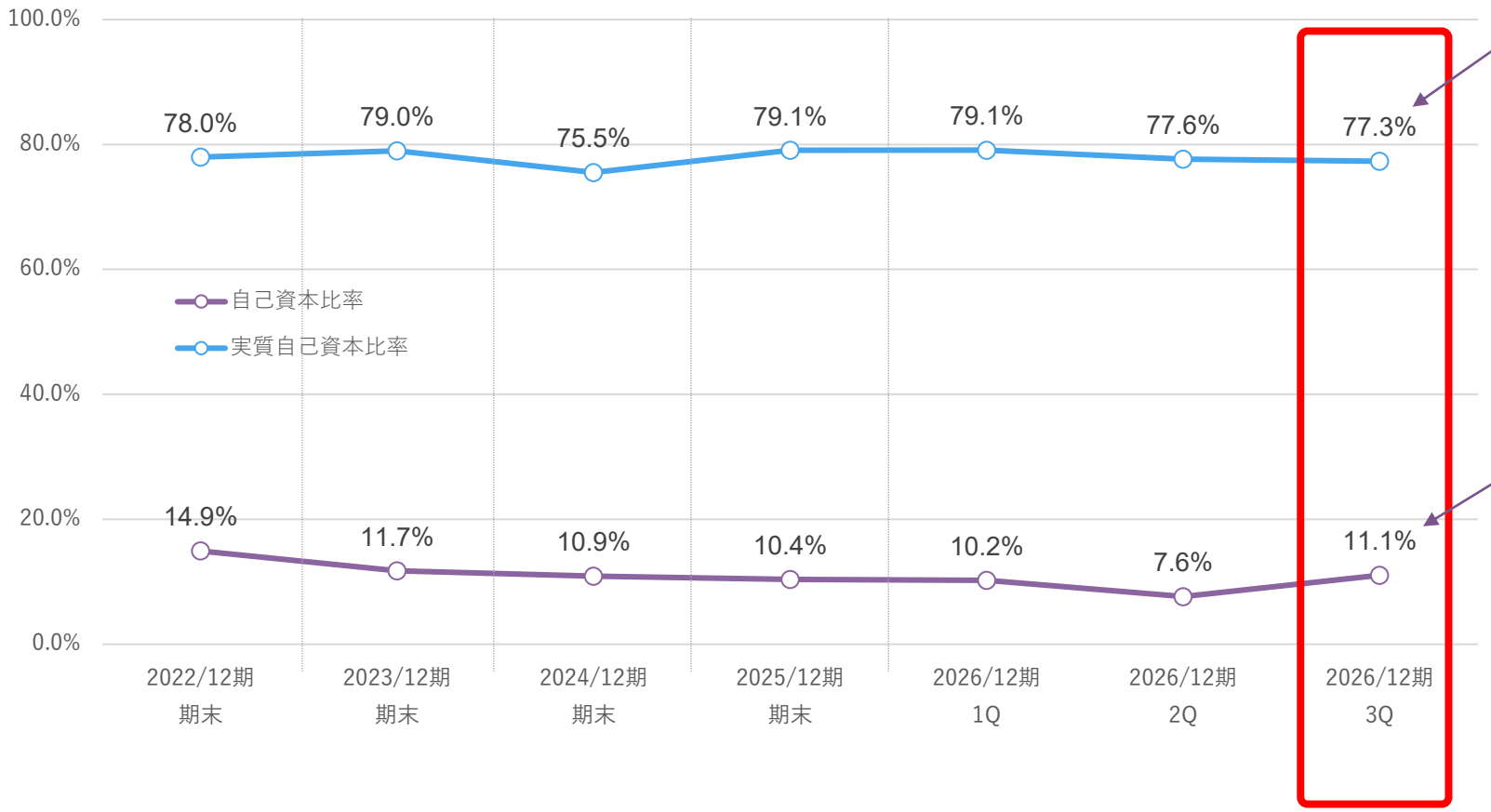
流動負債に含まれる預り金の変動により、表面上の自己資本比率は低く見えますが、当社実態としては安定的な財務基盤を維持しております。※次項をご参照ください。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

預り金の影響を除いた実質自己資本比率

当社の事業特性上、顧客企業への精算前の預り金が期末に滞留し、貸借対照表上の資産と負債が両建てで膨らみますが、
これらは**1ヶ月以内に解消される一時的項目**です。それらの影響を取り除いた実質的な自己資本比率の推移は下図のとおりです。

▼自己資本比率の推移



実質自己資本比率**77.3%**
（期間平均**77.9%**）

預り金の影響を除外した実質自己資本比率は、
引き続き高い水準で安定しております。

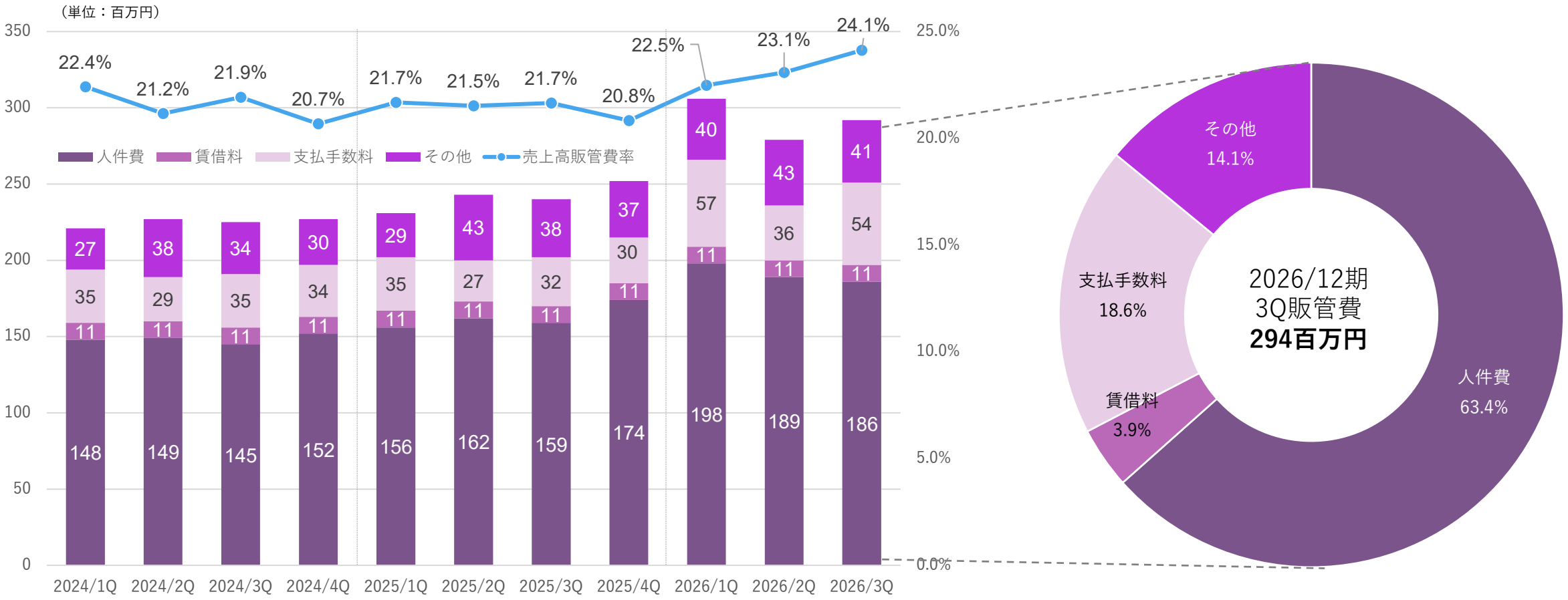
形式的自己資本比率**11.1%**
（期間平均**11.0%**）

実質自己資本比率は、「（純資産－非支配株主持分）÷（総資産－預り金）」により算出しております。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

販管費の推移と主要な内訳

- 当第3四半期は、**ペネトレーションテスト**(※1)や**PCI DSS**(※2)、**ISMS審査等**の実施により支払手数料が増加
- 上記のほか、**サイバー攻撃の高度化・高速化を踏まえ、今後も必要なセキュリティ対策を機動的に実施していく方針**であり、これに伴う追加的なコストについては、**事業の安全性・継続性および競争優位性を強化するために必要な投資**と認識

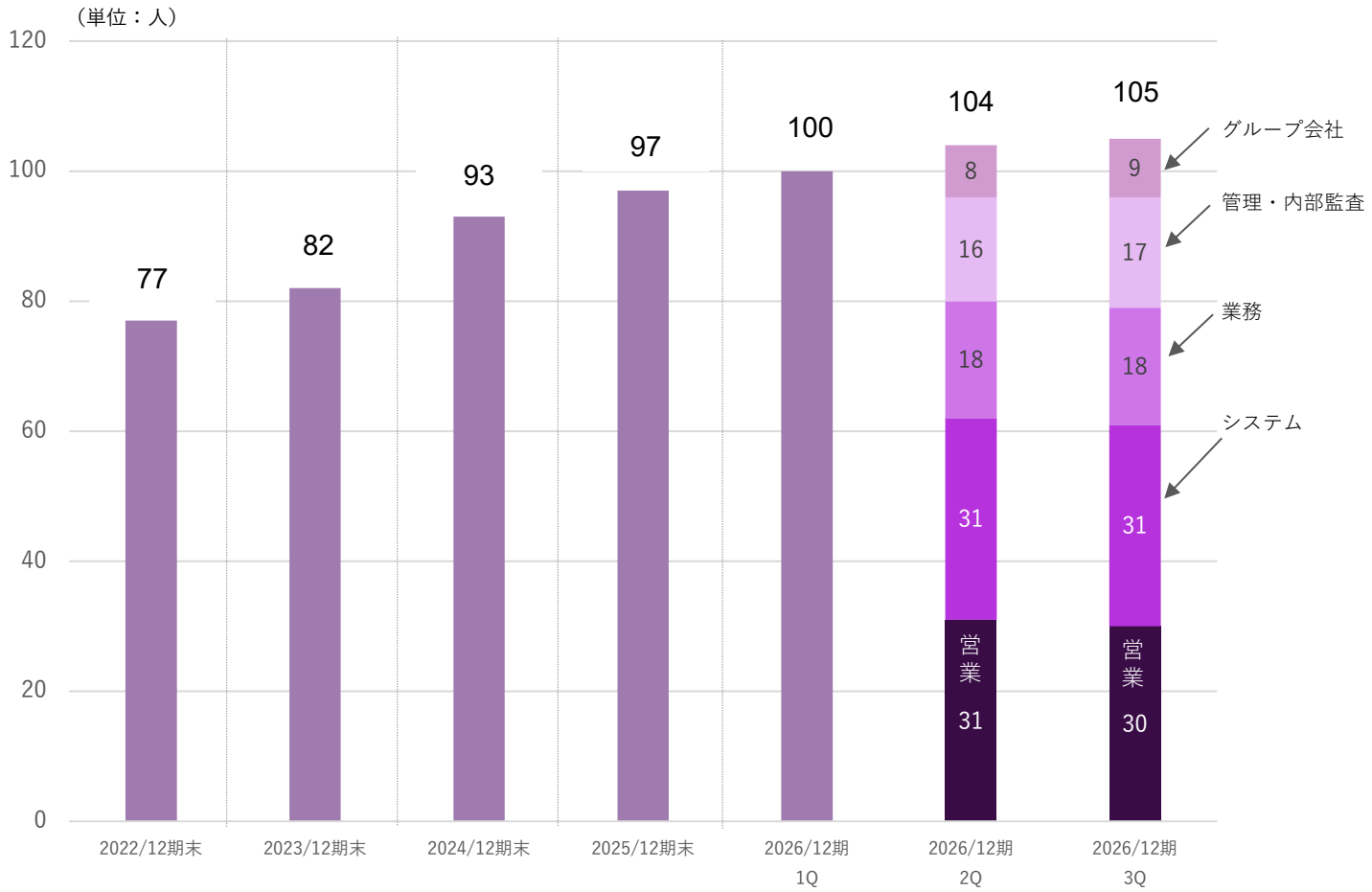


(※1) ペネトレーションテストとは、実際のサイバー攻撃を模してシステムへの侵入を試み、脆弱性が悪用される可能性や影響を確認することで、セキュリティ上の弱点を検証するテスト。
(※2)クレジットカード情報の安全な取り扱いを目的とした、国際的なセキュリティ基準（Payment Card Industry Data Security Standard）。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

人員数の推移

- 第3四半期末の人員数は、前年同期比8名増の**105名**（連結、正社員＋嘱託社員）
- 戦略を着実に実行するための基盤として、引き続き採用を積極化



- 第3四半期末人員数105名

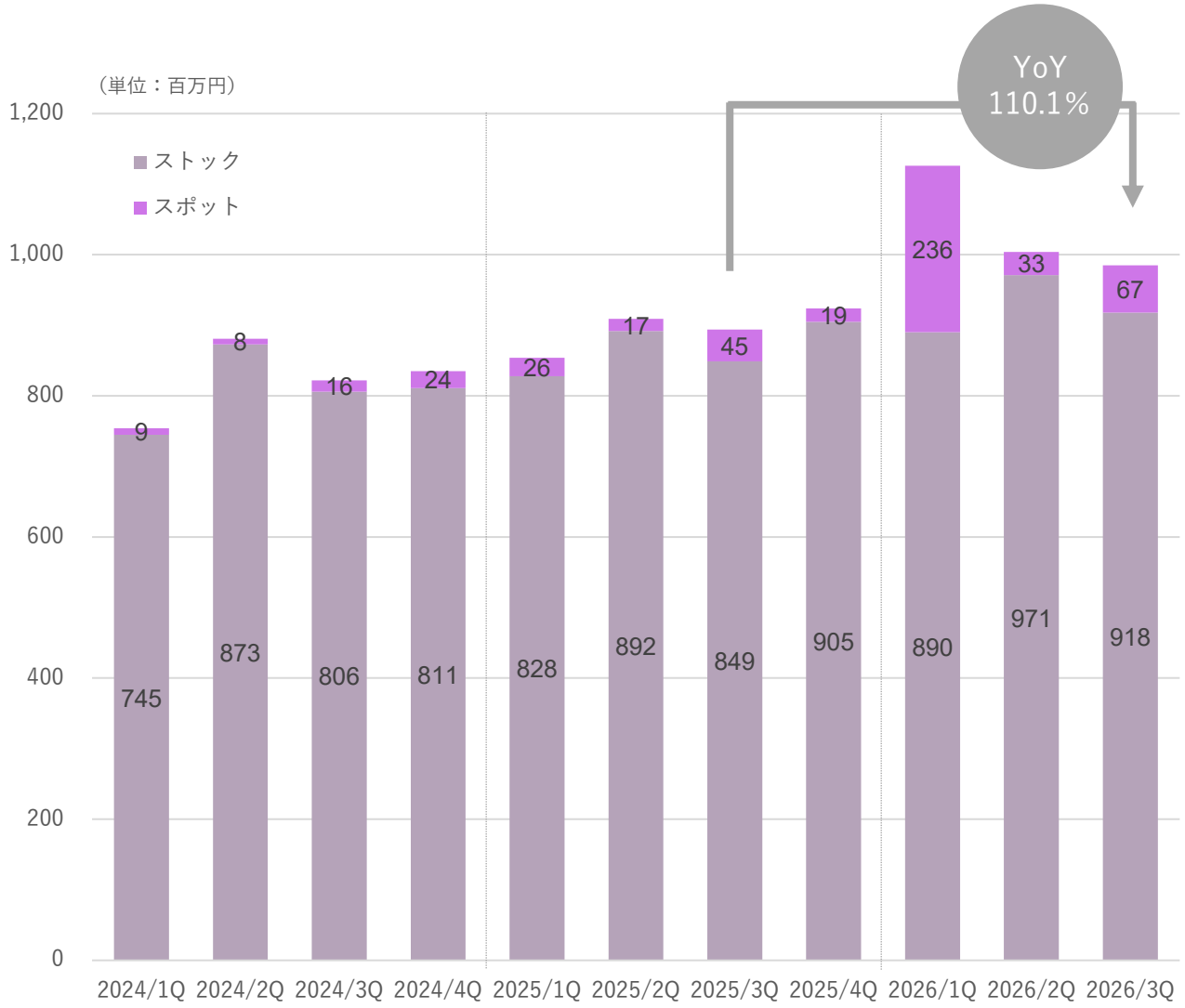
（参考）前年同期比

（単位：人）	2025年 3Q末	2026年 3Q末	増減
営業	31	30	-1
システム	28	31	3
業務	18	18	0
管理・内部監査他	14	17	3
グループ会社	6	9	3
合計	97	105	8

- 前年同期比＋8名。採用に加えて、人的資本としての社員が活き活きと活躍できる環境づくりに注力。
- ストレスチェックのため、「パルスサーベイ」を開始し、社員・組織のコンディション変化をタイムリーに可視化
- 社員意識調査や他社交流研修、海外研修の実施などエンゲージメント施策を充実

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

セグメント別実績　決済支援事業



前年同期比：110.1%

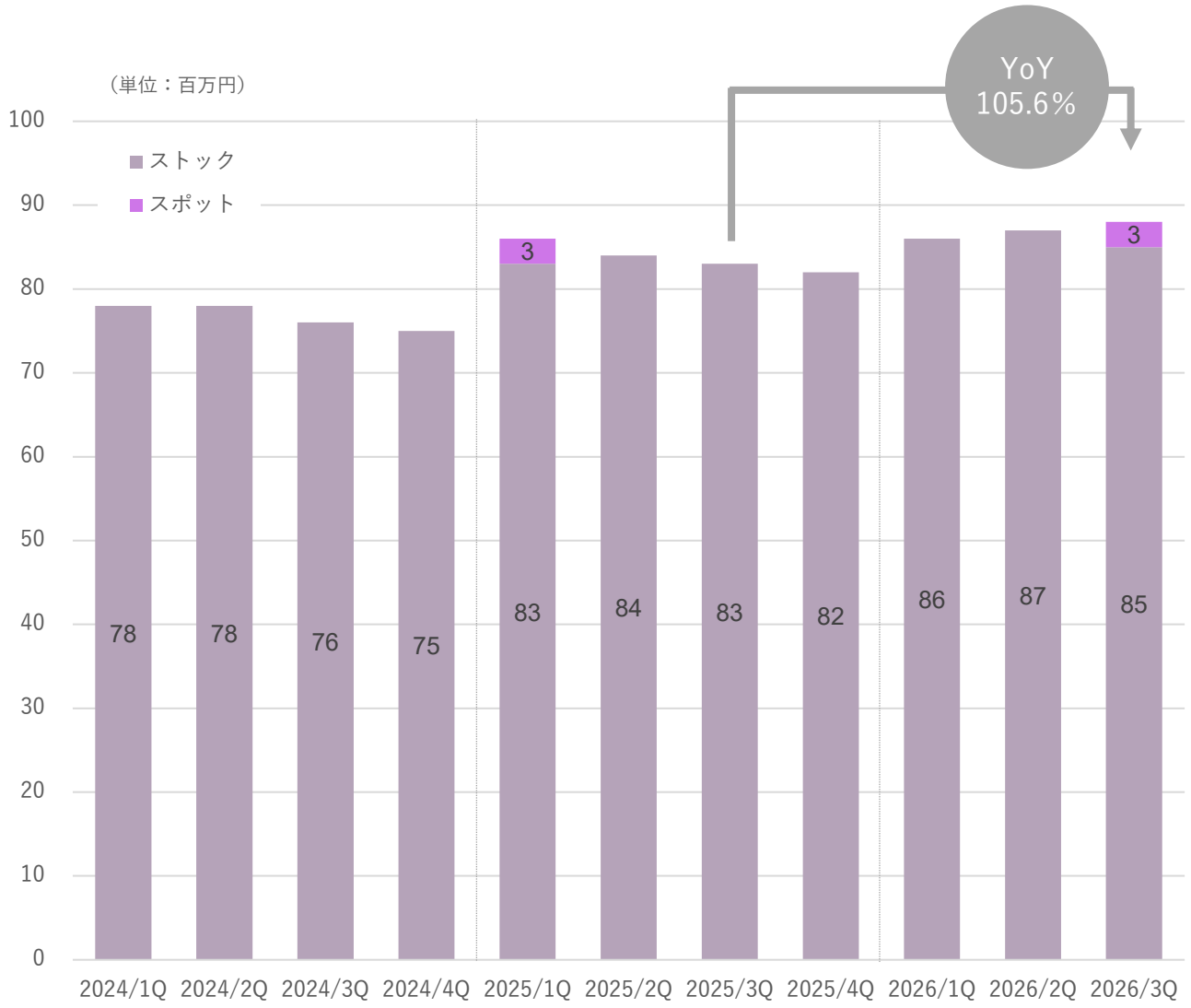
前四半期比：98.0%

売上高に占める構成比：80.8%

- 決済支援事業全体は前年同期比110.1%、ストック売上も同108.0%と堅調に推移
- PayBは引き続き堅調。自動車税納付が集中する第2四半期に取扱が増加する季節性から、第3四半期はその反動で微減
- クイック入金も第1-2四半期の株式市場やFXの活況の反動もあり、第3四半期で微減
- **全体として着実な成長モメンタムを維持**

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

セグメント別実績　送金支援事業



前年同期比：105.6%

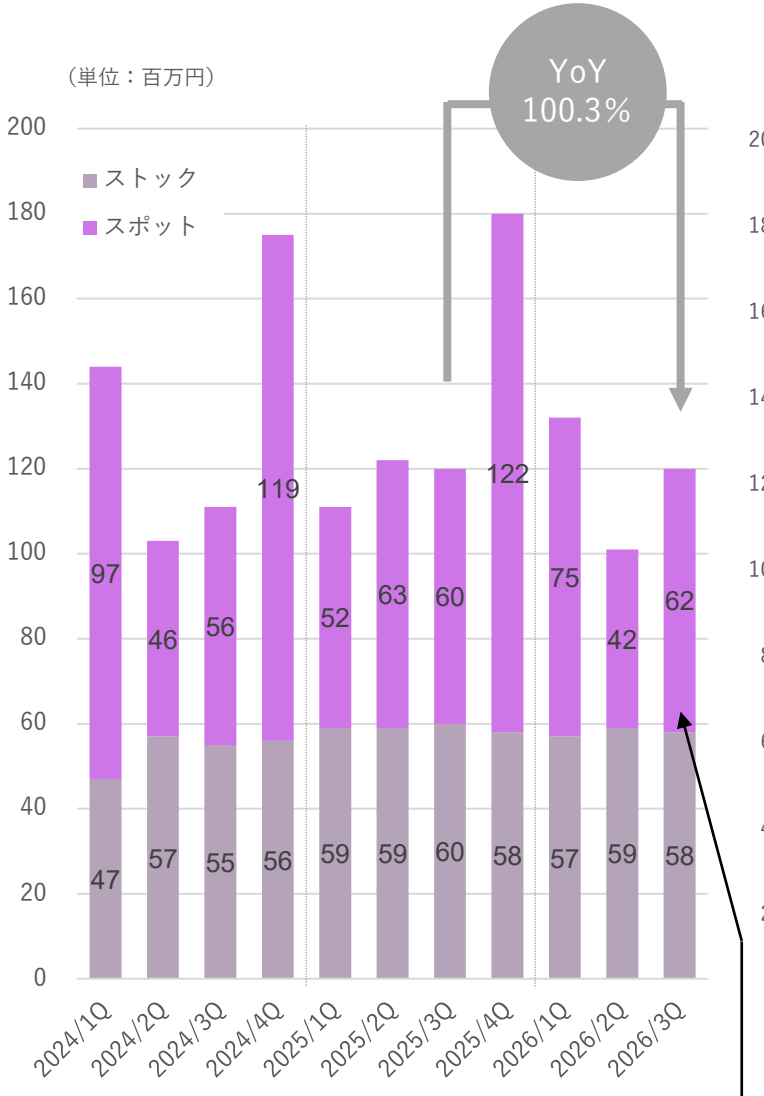
前四半期比：101.1%

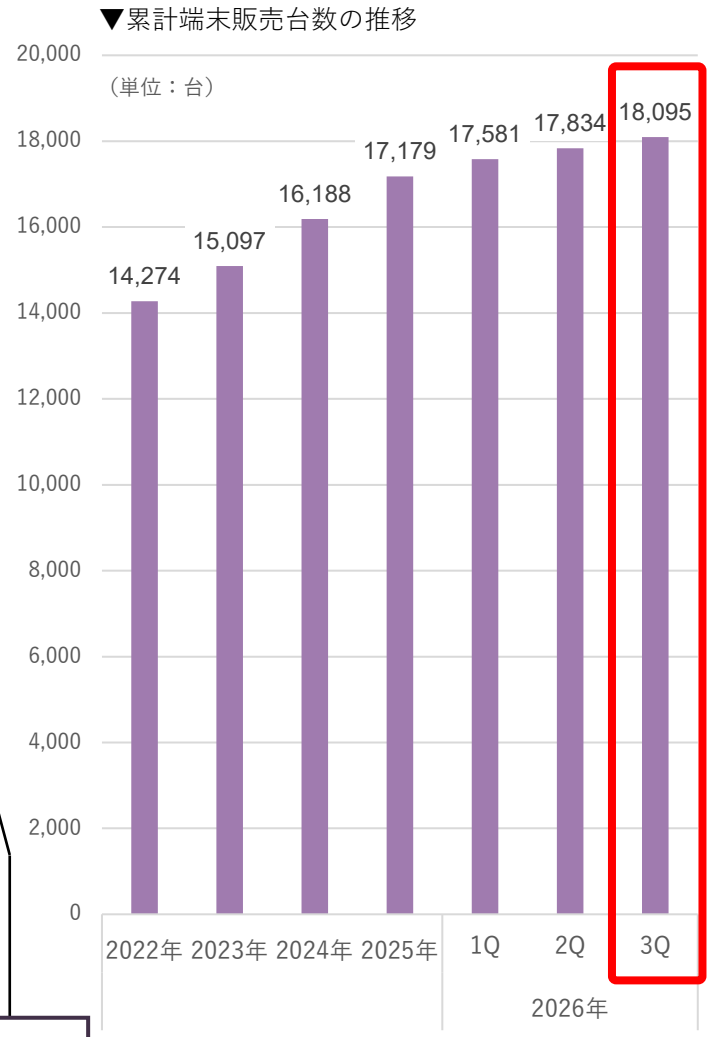
売上高に占める構成比：7.3%

- **PayB for Businessは、引き続き顧客獲得が進み、決済件数も増加傾向を維持**
- 取扱件数が多く運用負荷の高い顧客には、PayB for BusinessとBPOを活用した公共料金支払代行サービスとの組み合わせを提案し、顧客の業務規模や運用ニーズに応じたサービス提供に取り組む

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

セグメント別実績　端末事業





新機種PT-10Proの販売開始の遅延により、計画との乖離が生じている状況

前年同期比：100.3%

前四半期比：119.8%

売上高に占める構成比：9.9%

- 端末事業では、JR東日本駅構内の多機能ロッカー「マルチエキューブ」をはじめ、自動販売機、コインロッカー、コインパーキング向け等の既存案件が引き続きセグメント収益を下支え
- 今期、新型決済端末「PT-10Pro」の販売開始を予定していましたが、国際ブランドテスト等に時間を要し、**販売開始が当初予定から遅延**



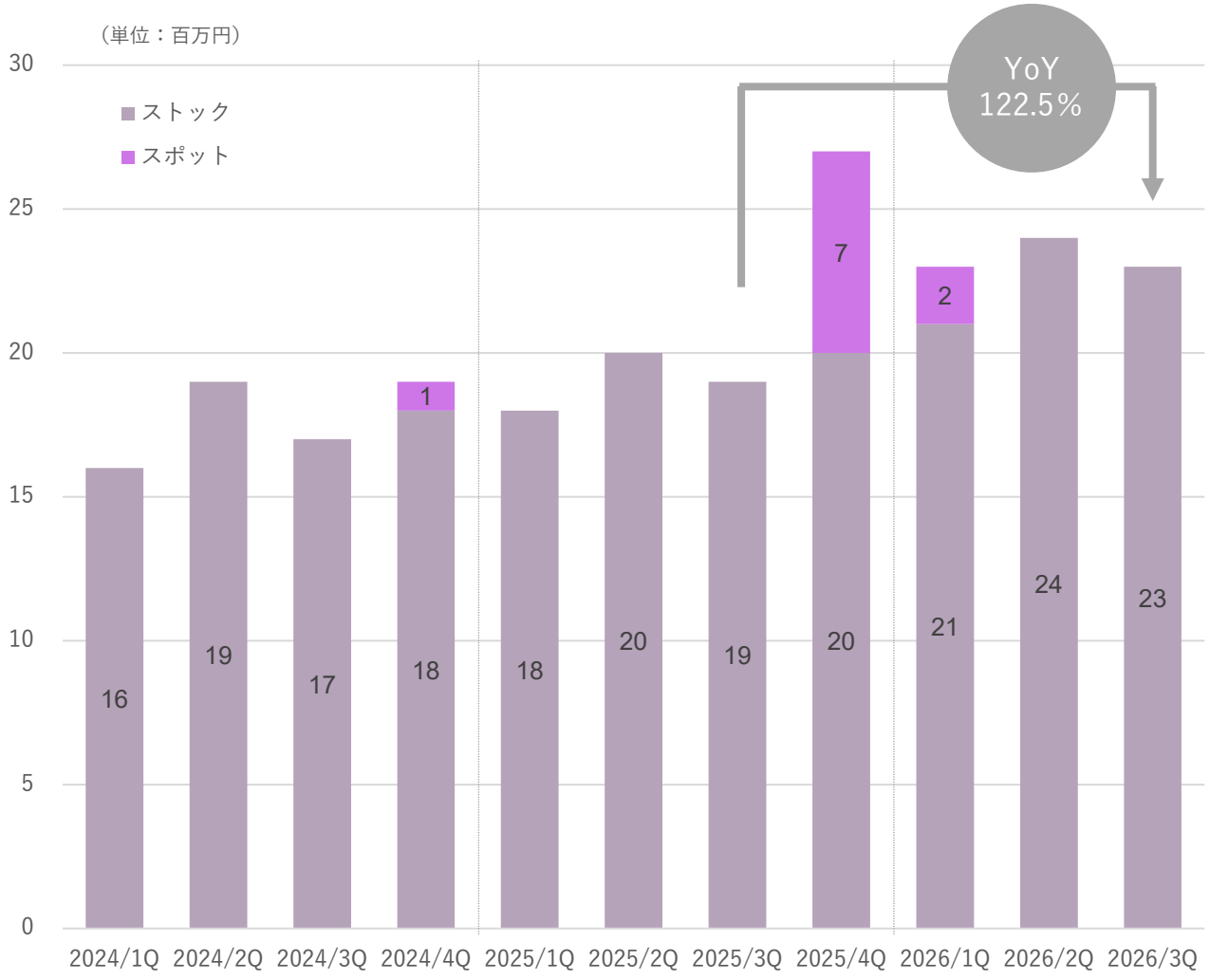
JR東日本スマートロジスティクス様
マルチエキューブ

JR東日本様
STATION WORK



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

セグメント別実績　その他事業



前年同期比：122.5%

前四半期比：97.9%

売上高に占める構成比：2.0%

- その他事業には、口座振替、請求収納、ファイナンス取次などを含む
- 影響は軽微ながら、安定的にストックを積み上げ

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

02 ビジネスアップデート

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

2026年12月期　戦略全体像

中期経営計画2年目として、国内決済領域における収益基盤を拡大し、成長を加速してまいります。

決済件数が積み上がるプラットフォームを基盤に、ストック売上と安定キャッシュを創出し、
成長投資と株主還元に循環させることで中長期のEPS成長を実現してまいります。

フロント・
現場の力

スタッフ・
バック
オフィスの力

戦略1　収益基盤

メリハリをつけた
ソリューション戦略

戦略2　成長ドライバー

次世代サービス構築への
着手と加速

戦略3　利益率・競争力

QCDのさらなる向上に
向けた開発・運用の強化

戦略4　効率化　全社視点での業務最適化への取り組み

戦略5　人的資本　社員が活き活きと活躍できる環境づくり

戦略6　資本戦略　コーポレート戦略機能の強化（IR/M&A/資金運用等）

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

2026年12月期　具体的な施策の取り組み状況①

戦略	重点テーマ	価値創造の考え方	主な取り組み状況
戦略1 収益基盤	メリハリをつけたソリューション戦略	● 成長性・収益性の観点から、強化・縮小・撤退するソリューションを明確化 ● 注力分野に経営資源を集中し、売上成長率の向上と営業効率の改善を推進	● PayB for Businessは不動産業界を中心に拡販を強化。金融機関からの新規受注も積み上げ ● Billing BOXの本格展開を開始(8月) ● xID社との提携を発表(9月)
戦略2 成長ドライバー	次世代サービス構築への着手と加速	● 将来の成長ドライバーとなる新規サービス企画を強化 ● 既存事業に依存しない収益の柱を創出し、中長期成長を下支え	● 三菱UFJファクター・三菱UFJ銀行と協働し、マルチバンク対応の即時口座振替サービス「ワイドネットゼロ」を提供開始(9月) ● 既存の即時決済基盤を活用し、新たな収益機会を創出
戦略3 利益率・競争力	QCDのさらなる向上に向けた開発・運用の強化	● QCDの可視化により、開発・運用の効率性と品質を両立 ● サービス拡大に耐えうるスケーラブルな開発体制を構築	● 開発部門を統合し、運用・基盤部門との連携を強化 ● 生成AIを開発プロセスに本格活用し、開発の高速化・運用の自動化を推進 ● New Relic等で運用・監視を効率化し、セキュリティ・堅牢性を強化

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

2026年12月期　具体的な施策の取り組み状況②

戦略	重点テーマ	価値創造の考え方	主な取り組み状況
戦略4 効率化	全社視点での業務最適化への取り組み	● 全社最適の観点で業務プロセスを再設計 ● IT・AI活用により、間接業務コストの増加を抑制	● **生成AI**を5月に全社導入し、社内横断プロジェクトで業務への組み込みを加速 ● **社内基幹システムの再構築検討**に着手し、年内の要件確定に向けて推進
戦略5 人的資本	社員が活き活きと活躍できる環境づくり	● 人材育成と評価制度を連動させ、個人と組織の成長を両立 ● 定着率向上により、採用・教育コストの効率化を推進	● 全社イベントで経営方針を発信し、**社員表彰**を実施 ● **2027年新卒の内定が確定** ● **職位別研修**を開始し、社外講習も実施 ● **従業員満足度調査**を実施し、各部で改善の取り組みを開始
戦略6 資本戦略	コーポレート戦略機能の強化（IR/M&A/資金運用等）	● 事業成長を適切に市場へ伝えるため、成長ストーリーを明確化 ● IR、M&A、資金運用を通じて、企業価値の向上を推進	● IR資料の充実と事業説明会の継続で、**IR活動を強化** ● **戦略的資本提携・M&A**の推進体制を整備 ● 手元資金の**運用を強化** ● **コーポレートサイト刷新**の要件検討を開始

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

2026年12月期　事業方針の進捗　主要KPI

「面積×密度」の成長モデルにより、将来の取扱件数とストック売上を着実に拡大しています。
いっそう強固な収益モデルを構築し、持続可能な利益成長を目指してまいります。

KPI ①

面積
（ネットワーク・カバレッジ）

PayB提携金融機関数*
（累計）

90 → 94
（内定先含む）

PayB提携収納機関数
（累計）

19,042 → 19,159
（+117）

第2四半期末（2026年6月末）との比較

KPI ②

密度
（ストック化の進行）

ストック売上
（連結・百万円）

3,059 → 3,284

ストック比率

91.9% → 86.2%

スポット案件の増加により低下しましたが、
3Qの3ヶ月では89.1%と平常化しています。
また、86.2%は適正レンジ内と認識しています。

前年同期（2025年1-9月）との比較

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

PayB取扱い金融機関・収納機関の拡大

第3四半期も着実に銀行サービスでのPayB利用が拡大中。「支払える口座」の拡大が着実に進展

- 第3四半期は、**阿波銀行・徳島大正銀行・三井住友銀行「Trunk」**で新たにPayBが利用可能に
- 「PayBアプリ」「とくぎんアプリ」に加え、法人向け「Trunk」へ。個人のみならず法人まで利用シーンが広がる
- 接続済みの都市銀行・ゆうちょ銀行・全国の地域金融機関と合わせ、**預貯金量ベースで国内金融機関の7割をカバー**※
- 接続拡大の積み上げが、**決済件数と継続的な収益成長**につながる

▼第3四半期（2026年7月～9月）におけるPayBの連携状況

阿波銀行

阿波銀行との業務提携により、同行を「PayBアプリ」の利用可能金融機関として新たに接続。
同行口座からバーコード付き払込票や地方税統一QRコードによる支払いに対応いたしました。

金融機関との接続拡大を通じて利用者の利便性を高めるとともに、PayBの利用基盤と決済機会を着実に拡大し、取扱件数のさらなる成長につなげていきます。

徳島大正銀行「とくぎんアプリ」

徳島大正銀行の「とくぎんアプリ」に「PayB」を提供。
税金・公共料金等を同行口座からリアルタイムで支払える環境を実現しました。
同アプリには提携先マネーフォワードエックスの「BANK APP」が採用されております。
今後は「BANK APP」を利用する他の金融機関への連携拡大を目指し、PayBの利用基盤・決済機会のさらなる拡大を図ります。

三井住友銀行「Trunk」

三井住友銀行の法人向けデジタル総合金融サービス「Trunk」に「PayB」を提供。
従来の個人向けに加え、法人の税金・公共料金等の支払いへ利用領域を拡大しました。
銀行口座からのリアルタイム決済や複数納付書の一括処理により、法人の支払業務を効率化。

金融機関・事業会社への展開を通じ、PayBの利用基盤と決済機会のさらなる拡大を目指します。

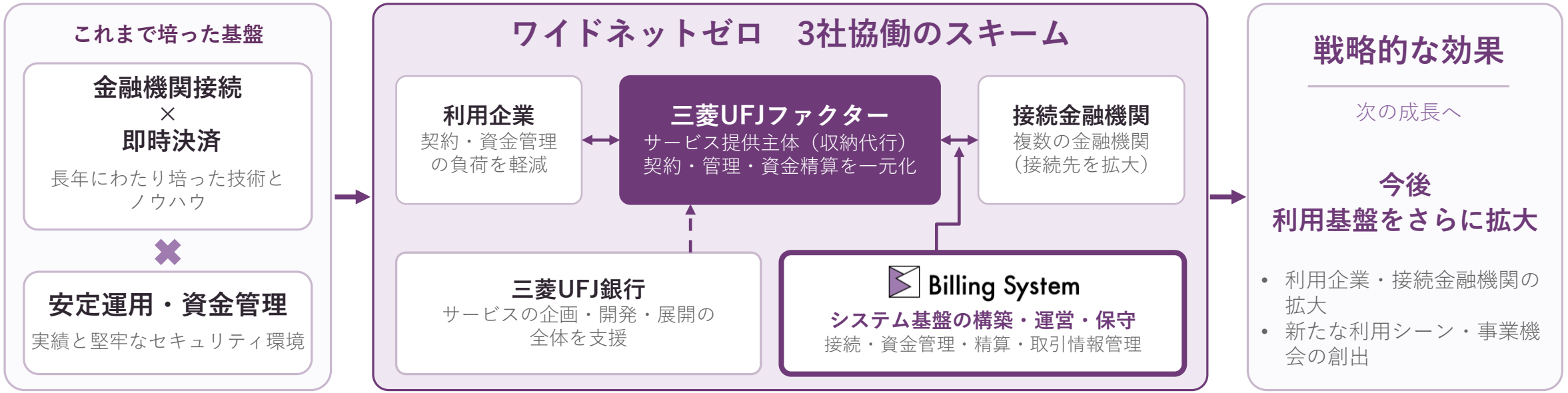
※ eL-QRは地方税共同機構の登録商標です。 ※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
※ 国内預金カバー率は全国銀行協会、ゆうちょ銀行関連公表資料等を参考に当社にて算出。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

マルチバンク即時口座振替の提供開始

既存の金融機関接続・即時決済基盤を活かし、「入金」から企業の「資金回収」へ提供領域を拡大

- ◆ 三菱UFJファクター、三菱UFJ銀行との協働により、**マルチバンク対応の即時口座振替サービス「ワイドネットゼロ」を提供開始**
- ◆ **複数金融機関との接続、契約、事務手続きから資金管理・精算までを一元化・自動化**。当社はシステム基盤の構築・運営・保守を担当
- ◆ 今後、利用企業・接続金融機関の拡大を進め、**金融機関向けサービスのさらなる展開**につなげる



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

『Billing BOX - ペーパーレス収納 - 』の本格展開開始

紙の払込票からSMS・e-mail通知＋スマホ決済へ。印刷・郵送コストを削減し、収納率向上を狙う請求・収納DXを本格展開※

- 紙の払込票の印刷・郵送から、**SMS・e-mail通知とスマホ決済**へ。いつでもどこでも支払える
- **印刷・郵送費の削減、督促・再請求の迅速化**で事業者の業務を効率化し、収納率向上に貢献
- PayB HUB導入済み事業者は**大規模な改修なしで導入可能**
- 大手都市ガス事業者の試行で、**デジタル化とコスト削減を実現済み**

Billing BOX

顧客企業・自治体の課題

紙の請求書	印刷費・郵送費の上昇
業務負荷	人手不足・再請求対応
支払利便性	多様な決済ニーズ
収納管理	入金確認・消込の効率化

Billing BOX

請求通知から決済・収納管理までを一元化

1	2	3	4
請求情報	**通知**	**決済**	**収納**
管理画面へ登録	SMS・e-mail	PayB HUB・各種スマートフォン決済アプリ・コンビニ	データ還元・資金精算

既存のPayB HUB収納データ連携・資金精算の仕組みを活用し、大規模改修を抑えて導入可能

導入効果と展開先

- **コスト削減**
  印刷・郵送費
- **業務効率化**
  督促・再請求を迅速化
- **利便性向上**
  いつでも・どこでも支払い
- **収納率向上**
  多様な決済手段を提供

電力・ガス／地方公共団体／企業

※2026年3月より大手都市ガス事業者で一部機能を試行利用。2026年8月、必要機能の開発完了に伴い本格展開を開始。

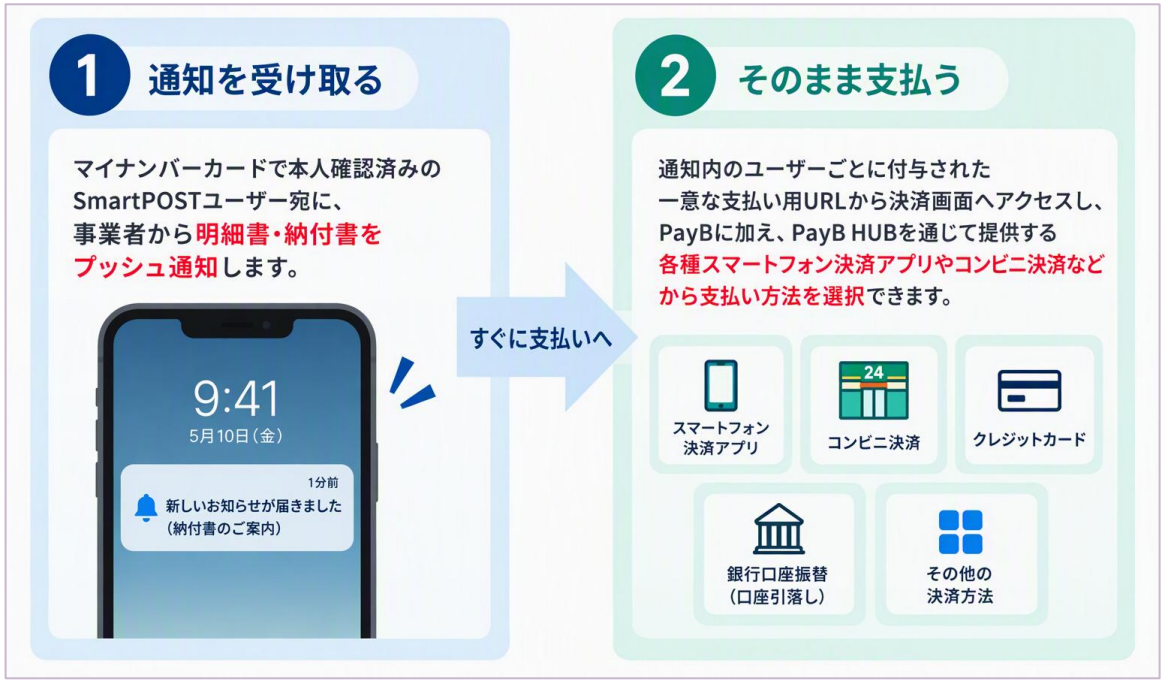
Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

クロスアイディ

xID 株式会社との業務提携による「SmartPOST」との連携開始

xIDとの提携で「決済直結型デジタル郵便」を提供開始。通知から支払いまでをスマホで完結し、未収納の改善と郵送コスト削減へ

- 紙の払込票は郵送の手間や見落としが課題。本連携で、**本人確認済みユーザーへの通知から支払いまでをスマホで完結**
- **xID社との提携メリット：**マイナンバーカードで本人確認済みのユーザー基盤を持つxIDと組み、確実に届く請求・収納の導線を獲得
- **今後の展開：**インフラ事業者を中心に自治体・民間企業へ広く展開し、請求・収納のデジタル化・キャッシュレス化を推進



＜連携による提供価値＞

事業者

- 請求・収納業務のデジタル化
- 郵送費・印刷費等のコスト削減
- 請求から収納までの業務効率化

利用者

- 本人確認済みで、請求情報を安全・確実に受領
- 通知から決済までスマートフォンで完結
- 多様な決済手段を利用可能

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

端末事業における新機種の販売開始時期について

PT-10Proの販売開始は外部要因により遅延しているものの、加盟店・販売パートナーからの引き合いは多く、市場投入時期を待っている

- **遅延原因**：2つ目の決済センターとの接続に必要な国際ブランドテストの調整が長期化。本件は国際カードブランド等の手続きであり、当社・FinGoではコントロールしにくい状況
- **影響**：接続を前提とする加盟店向けの端末提供・売上計上が遅延



加盟店・販売パートナーへの営業・交渉は進めており、接続手続きの完了後は速やかに市場投入します。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

取手事務センターの拡張移転方針について

受注拡大に伴う業務量の増加を見据え、取手事務センターを拡張移転。業績への影響は第4四半期以降に見込む

移転の背景	足元の受注拡大に伴い業務量が増加。 今後のさらなる事業拡大を見据え、取手事務センターの拡張移転を決定
業務基盤の強化	従来より広いスペースを確保し、将来の業務量・人員増加にも対応可能なオペレーション体制を整備 ワンフロアでの効率的なオペレーション環境を実現
今後の見通し	新拠点への移転・立ち上げに伴う一時的な費用を見込む一方、中長期的な事業成長を支える業務基盤を強化 移転費用や新旧拠点の並行稼働による一時的なコスト増加で、業績への影響は第4四半期以降に生じる見込み









（画像は取手事務センターが入居予定のビル）

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

サイバーセキュリティ強化への取り組み

総点検・一段高い対策・想定訓練を実施し、サイバーセキュリティ対策を強化

- 従前の対策に加え、**総点検・一段高い対策・想定訓練**を実施し、予防・早期検知・対応復旧の3領域で強化
- 対策の高度化・体制強化に伴い、**今後の関連費用が増加する可能性**がある点にも留意

① 予防・アクセス統制 侵入リスクを低減	PCI DSS※をベースとした脆弱性診断・侵入テストを継続 攻撃可能性に応じた脆弱性管理と、重要システムへのアクセス統制を強化
② 脅威の早期検知 異常の早期把握	EDR※による不審な振る舞いの検知と、ログの集約・横断分析を推進 攻撃の兆候を早期に把握する監視体制を継続的に高度化
③ 対応・復旧 事業継続力を強化	ランサムウェアを想定したバックアップ保護を強化 CSIRT※を中心に、対応・復旧体制と実践的な訓練を強化

安心・安定した決済サービスを支える経営基盤として、継続的に強化



※PCI DSS（Payment Card Industry Data Security Standard）：クレジットカード情報を安全に取り扱うための国際的なセキュリティ基準。ネットワーク管理、アクセス制御、監視・テストなど、幅広い対策を定めている。
※EDR（Endpoint Detection and Response）：PCやサーバーなどの端末の不審な挙動を検知し、サイバー攻撃の早期発見や対応につなげる仕組み。
※CSIRT（Computer Security Incident Response Team）：サイバー攻撃や情報漏えいなどのインシデント発生時に、原因調査・対応・再発防止などを担う組織。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

03 通期見通し

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

2026年12月期　業績見通し

● 業績予想は2026年8月13日に公表した内容から変更しておりません

（金額単位：百万円）	2025/12期 3Q累計実績	2026/12期 3Q累計実績	前年同期比	2026/12期 通期業績予想	進捗率
売上高	**3,330**	**3,808**	114.4%	**5,607**	67.9% （前年同期の進捗率は69.5%）
売上総利益	**1,156**	**1,484**	128.4%	–	
売上総利益率	**34.7%**	**39.0%**	+4.3ポイント	–	–
販管費	**720**	**883**	122.7%	–	–
営業利益	**436**	**600**	137.7%	**929**	64.6% （前年同期の進捗率は58.2%）
営業利益率	**13.1%**	**15.8%**	+2.7ポイント	–	
経常利益	**435**	**646**	148.4%	**926**	69.8% （前年同期の進捗率は58.4%）
経常利益率	**13.1%**	**17.0%**	+3.9ポイント	–	
当期純利益	**272**	**412**	151.1%	**584**	70.4% （前年同期の進捗率は58.6%）
当期純利益率	**8.2%**	**10.8%**	+2.6ポイント	–	
EPS（円）	**43.36**	**65.98**	152.1%	**93.01**	70.9% （前年同期の進捗率は58.7%）

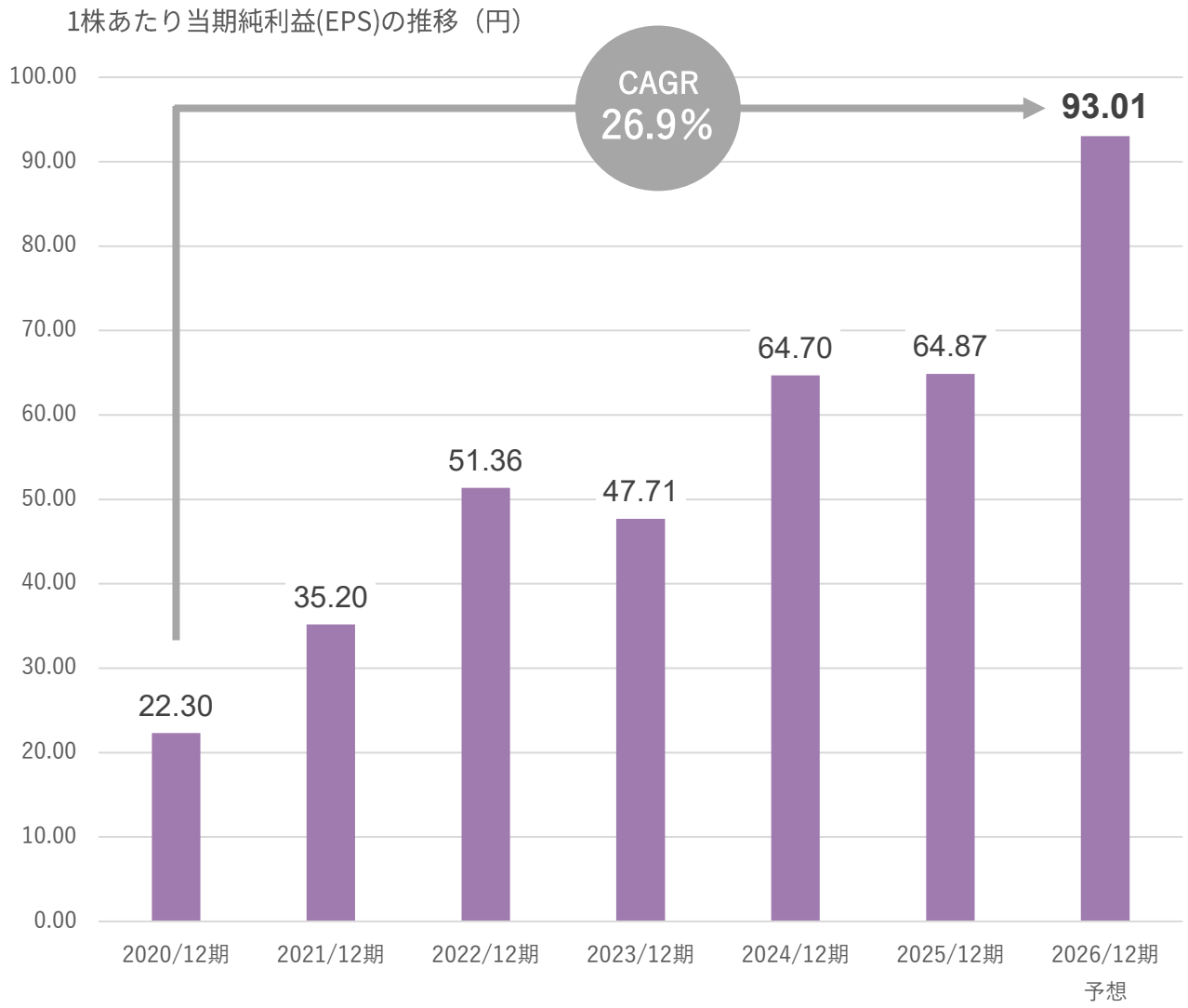
◆ プラス要素
- クイック入金やPayBなど当社決済支援事業を中心としたオーガニック事業の堅調な成長モメンタム
- 金利上昇に伴う受取利息、手元資金の運用強化

◆ マイナス要素
- FinGoの新型決済端末の販売開始の遅れ
- M&Aを含むインオーガニック領域は、慎重な案件選定により進捗が遅れ（案件は増加）
- サイバーセキュリティ対策費用
- 取手事務センターの拡張移転費用

当社の**オーガニック事業は引き続き堅調に推移し、計画どおり。**一方、サイバーセキュリティ、AI、M&Aを取り巻く環境は、急激に変化しています。持続的な企業価値向上を最優先に、検討・対応を進めてまいります

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

1株あたり当期純利益(EPS)の推移



EPS年平均成長率：26.9%

- 当社のビジネスモデルは、**決済件数・取扱高が着実に積み上がり、**売上成長率10-15%（数年平均）を安定的に実現するモデルです。
- 既存顧客内での利用拡大、新サービス・新チャネルの横展開、そしてキャッシュレス決済の拡大という時代背景を受け、**蓋然性の高い成長シナリオ**を描いています。
- また、スケール効果により共通費の負担が逓減し、ストック売上比率の上昇と相まって、構造的に収益性が向上していきます。
- この結果、**年平均成長率26.9%という高いEPS成長**を実現しています。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

配当計画

連結配当性向35％とDOE（株主資本配当率）3％を目安として、安定性と業績連動を両立した還元を目指します。

当期は1株あたり32.50円を計画

成長投資への適切なキャピタルアロケーションとバランスを図りつつ、最適な資本構成を維持し、長期的な企業価値向上を通じて株主の皆様の期待に応えてまいります。

	2022/12期（実績）	2023/12期（実績）	2024/12期（実績）	2025/12期（実績）	2026/12期（予想）
1株あたり年間配当金（円）	10.00	12.00	22.50	25.80	**32.50**
配当性向（%）	19.5%	25.2%	34.8%	39.8%	35.0%

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

キャッシュアロケーションの基本方針

創出したキャッシュは、まずは成長・戦略投資に配分し、その成果を株主の皆様へ還元してまいります。

キャッシュの獲得

営業キャッシュフロー

継続的な利益成長から得られる営業CFを主軸

保有資産有効活用

預り金と対応する預金を除いた自己資本キャッシュを対象に、財務健全性を損なわない範囲で有効活用

有利子負債活用

財務健全性を前提としつつ、必要に応じて、補完的な活用も検討

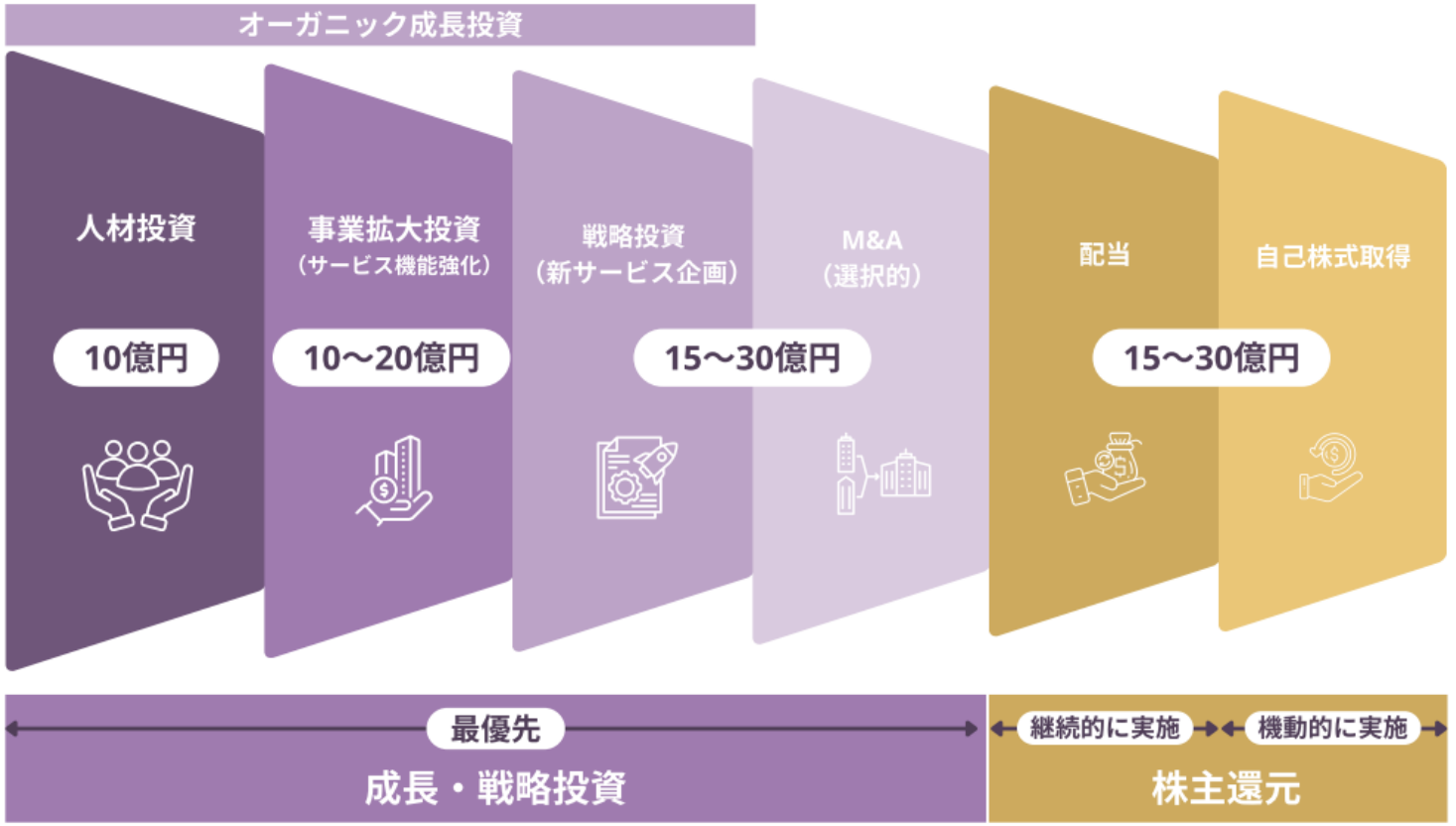
戦略資金

50～80億円

(FY2026-FY2030)

獲得キャッシュを単一の原資とし成長投資を最優先に配分

資本配分方針



成長投資の進捗と財務状況を踏まえ、配分を機動的に見直します

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

中長期の経営ガイドライン

① 売上高成長



決済件数・取扱高の構造的な積み上がり
売上成長率：10-15%（数年平均）
- 既存顧客内での利用拡大
- 新サービス・新チャネルの横展開

② 収益性向上
（本業オペレーション）



スケール効果と売上ミックス改善
- 共通費の薄まり
- ストック収入比率の上昇

③ 資産効率向上
（決済インフラ特性）



現預金等を活かした営業外収益
- 決済プラットフォーム特有のフロート
- 現預金等の成長投資への活用

④ 資本効率向上



規律ある株主還元と資本政策
- 安定配当を前提
- 株価水準を意識した規律ある自己株式取得

景気循環に依存しにくい
再現性の高いEPS成長モデル

EPS成長率15%以上
（今後5年平均）

ROE
20%程度
結果として目指す水準

IR活動のご案内

個人投資家向けIRイベント「Investor Salon」を11月13日に開催。投資家・株主との直接対話の機会を拡大

- ◆ 投資家の皆様に、タイムリーかつ直接の説明を行い、株主との対話の機会を増やしてまいります。
- ◆ 当社ホームページより、アーカイブ動画をご視聴いただけます。

▼これまでの取り組み

FY25	決算説明会動画を配信 https://youtu.be/hnfMJVNFvOc?si=WHXLVbr2gxKCLwd_
FY26 (4/10)	野村IR主催　個人投資家向けWEBセミナー https://webcast.net-ir.ne.jp/36232604/index.html
FY26 (5/25)	湘南投資勉強会主催　IR説明会（オンライン） https://www.youtube.com/live/eIYGI2diAfM?si=3kv2-zISwBnLWTuX
FY26 (8/22)	神戸投資勉強会主催　IR説明会（大阪会場＋オンライン） https://youtube.com/live/OZC9WKAWbQs?feature=share

▼11月13日（金）開催　IRイベント「Investor Salon」のご案内

ご案内

＜開催概要＞
開催日：2026年11月13日（金） 開場：18:30 本講演：19:00～20:30 交流会：20:30
会場　：シティラボ東京 東京都中央区京橋3丁目1-1 東京スクエアガーデン6階
参加費：無料 定員：50名※抽選制



下記の参加申込フォームより
ご予約ください。
※申込多数の場合、抽選制となります。

→　ビリングシステム 個人投資家向け Investor Salon 参加申込フォーム

QRコードからも参加申込みいただけます
是非この機会に参加をご検討ください！

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

04 Appendix

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

会社概要

会社名	ビリングシステム株式会社　（英文名：Billing System Corporation）
設立	2000（平成12）年6月5日
所在地	東京（本社）〒100-0011　東京都千代田区内幸町1-2-2　日比谷ダイビル13階 茨城（取手事務センター）〒302 - 0024　茨城県取手市新町2 - 2 - 16　ルックハイツ201号
資本金	1,237,988千円（2026年9月末）
役員	取締役会長　江田 敏彦 代表取締役　石塚 昭浩 取締役　木幡 徹 取締役　長谷川 毅 取締役　住原 智彦 取締役　安孫子 和司 取締役（社外）　木﨑 重雄 常勤監査役（社外）　大林 幹司 監査役（社外）　山田 啓介（公認会計士・税理士山田啓介事務所　主宰） 監査役（社外）　中谷 浩一（森＆パートナーズ法律事務所 パートナー弁護士）
グループ会社	トランスファーネット株式会社　【連結子会社】 集金事務及び収納事務の代行事業　https://www.transfernet.jp/
	FinGo株式会社　【連結子会社】 キャッシュレス決済端末関連事業　https://www.fingo.co.jp/
	給与賞与株式会社　【非連結子会社】

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

経営理念とビジョン

決済基盤を軸とした新しいワークフローを提供し、お客様の利益を創出します

2030年 ビジョン

世界とつながる社会を決済で支える

国内外の取引増加で複雑化する決済業務を、安全かつ効率化なものにしていく

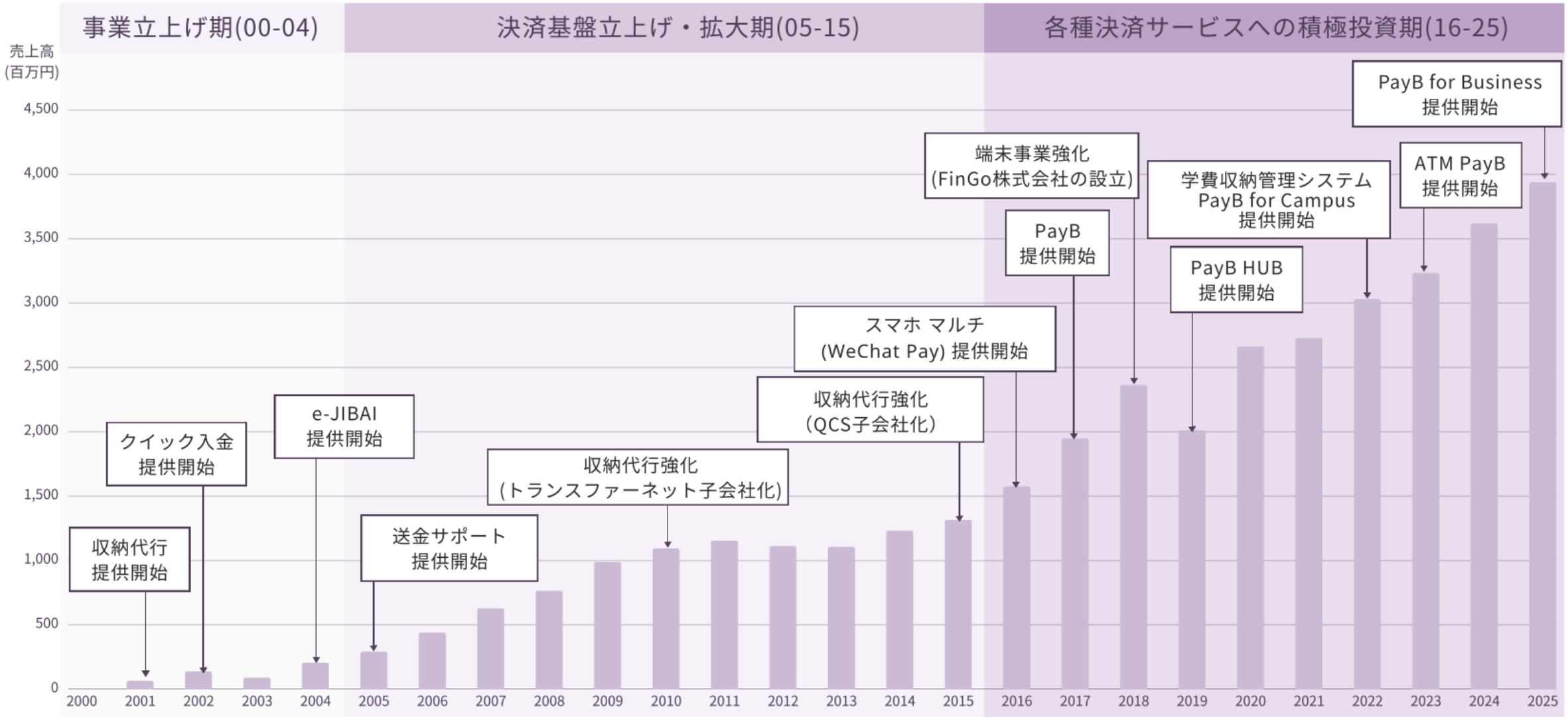
そのために、現在の基盤事業をさらに強固にし、新たな事業機会を捉える

目指す姿

1. 私たちは、創意工夫と相互の啓発を大切にし、誇りとやりがいを持てる環境を作ります
2. 私たちは、決済サービスを中核としつつ、その情報と分析を活かした新しい領域のサービスを提供し、お客様の成長と発展に貢献します
3. 私たちは、パートナー企業と共に相互のノウハウと強みを活かしたアライアンスを推進し、１＋１＝∞の価値を創出します
4. 私たちは、ビジネスインフラとしての自覚を持ち、事業の安定的な運営と経営の透明性、健全性を堅持し、社会の発展に貢献します

成長の軌跡

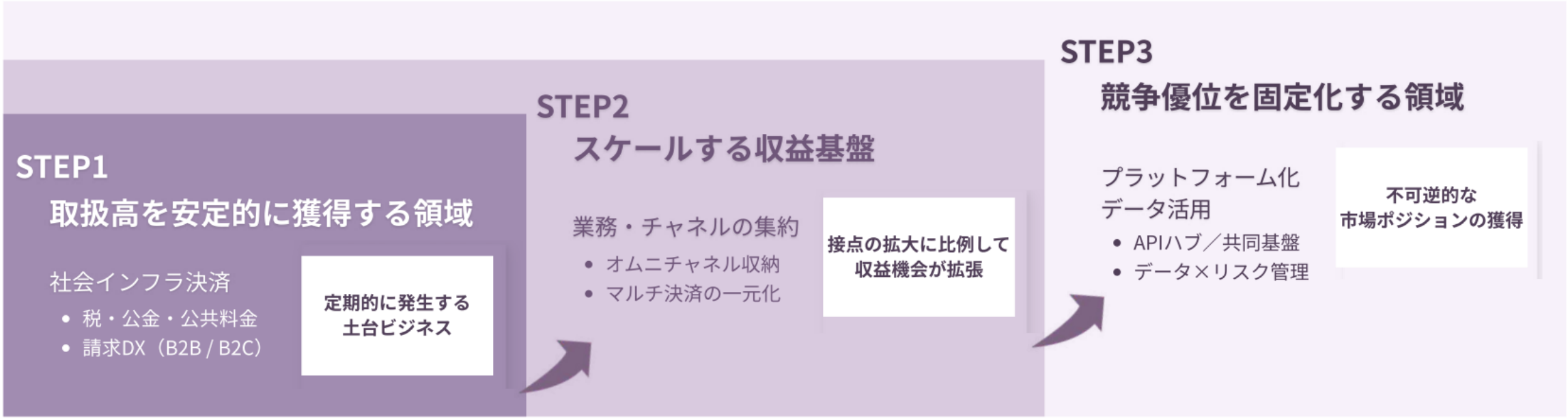
公金・公共料金/金融機関連携などの実績を積み上げ、SLA・監査対応・制度対応などの構造的な競争優位性を形成



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

ビリングシステムの事業機会

決済・送金を起点に、社会インフラからデータ活用事業へ拡張する成長モデル
（マルチ決済×業務DX×データ活用による持続的スケール）



事業の本質

単発の決済手数料ビジネスではなく、
顧客の業務フローそのものに入り込む**インフラ事業**

競争優位の源泉

- 公金・公共料金など「止まらない取引」を扱う信頼
- 一度入ると入れ替えしにくい業務インフラ
- 年々積み上がる取引データによる参入障壁

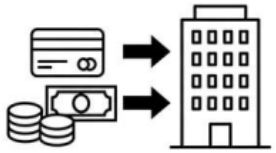
この3層モデルにもとづき、STEP1(短期)・STEP2(中期)・STEP3(長期)での企業価値向上を目指す

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

サービスラインナップ

資金の受け渡しを代行するだけではなく、決済にまつわる業務フローを多面的に支えています

収納代行



請求主に代わってお客様の支払いの受け取り。クレジットカードやコンビニ決済など多様な決済を一元管理し、請求から入金確認までを自動で行う仕組みです。

クイック入金



銀行とシステムをつなぎ、振込入金をリアルタイムで通知。
証券やFXなど、すぐに入金を確認したい業界で活用されています。24時間いつでもチェックできる安心のサービスです。

e-JIBAI



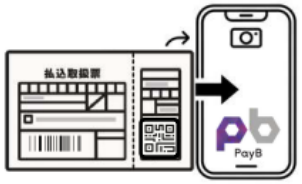
自動車の自賠責保険料を、全国の金融機関から安全に支払える仕組み。保険代理店や保険会社の入金管理をスムーズにします。社会インフラを支える決済ネットワークです。

スマホ マルチ



PayPayやWeChat Payなど、国内外のスマホ決済をまとめて導入。 観光地や店舗でのキャッシュレス化をサポートし、 より便利な支払い体験を実現します。

PayB



納付書や請求書に印刷されているバーコードやQRコードをスマホで読取り、いつでもどこでも簡単に支払いができるアプリ。
紙で受け取る請求書でも手軽でスマートな決済を可能にします。

Multipayオンライン



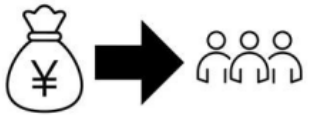
WebサイトやECサイト向けのQR決済サービス。
海外の主要ブランドに対応し、ネット上の取引を安全・スムーズに支えます。

キャッシュレス決済端末



電子マネーやQRコード、カード決済を1台で対応。
自動販売機や無人店舗でのキャッシュレス化を実現します。
現金に触れない新しい購買体験を届けます。

送金サポート



企業の給与振込や取引先への送金を代行。
大量の振込作業をまとめて処理し、 企業の事務を効率化します。

公共料金支払代行



電気・ガス・水道などの公共料金をまとめて支払い。
支払データを自動で管理し、企業や自治体の経理負担を軽減します。

学費収納管理システム

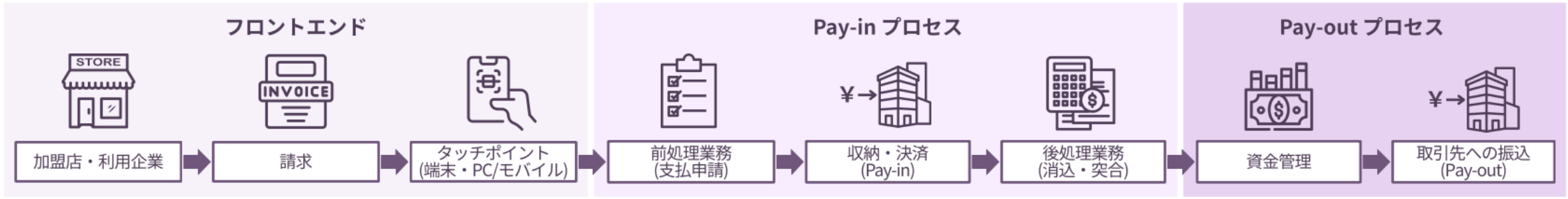


学費収納管理システムは入学金や授業料等をペーパーレス且つキャッシュレスに請求・収納ができる学校法人向けDXサービス。
季節性の事務負荷を大幅に軽減します。

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

決済バリューチェーンにおける当社の役割　事業セグメント

「情報の生成 → 資金の受入 → 照合・管理 → 資金の分配」という情報と資金の流れです。
当社はこの一連の業務を統合的に担い、業務効率化にとどまらない付加価値を創造しております。



① 決済支援事業*

事業者・自治体が顧客から代金を回収するための
請求～支払(収納)～入金確認・消込までの業務プロセスを一体で支援する事業

② 送金支援事業

回収した資金を、事業者の業務ルールに従って
管理・分配し、取引先等への送金を支援する事業

③ 端末事業

決済・送金プロセスの起点となる
加盟店・利用者との接点を補完するための周辺事業

④ その他事業

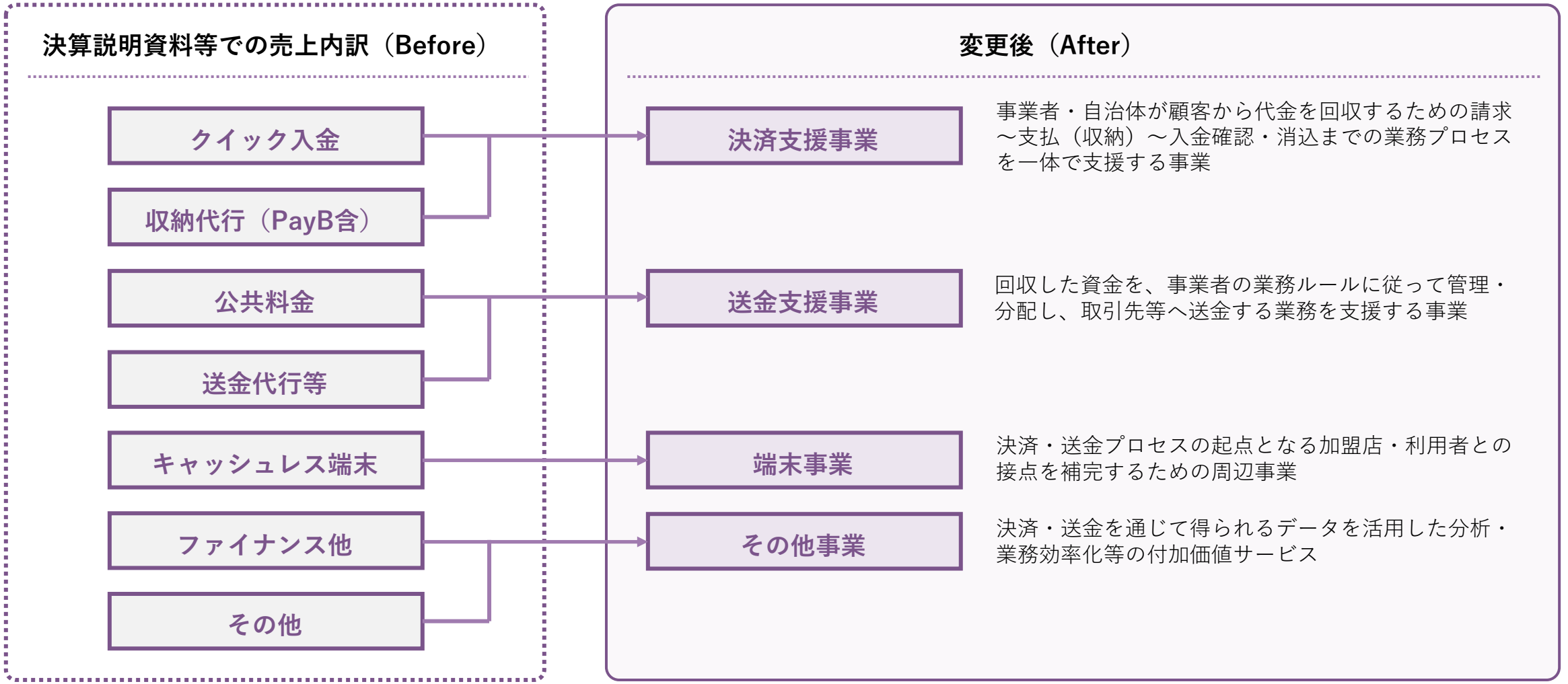
決済・送金を通じて得られるデータを活用した分析・業務効率化等の付加価値サービス

*本資料における「決済」＝収納を含む業務プロセス全体

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

セグメント区分の変更について

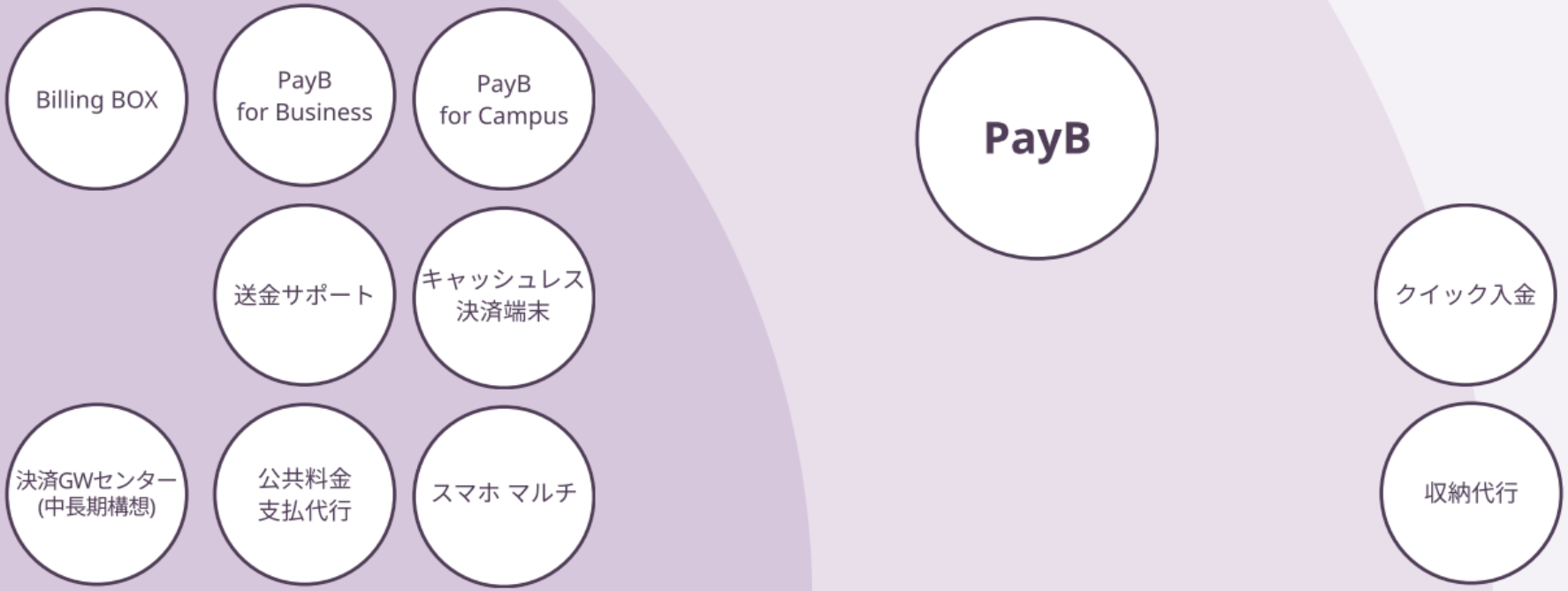
決済支援業務を主軸としながら決済バリューチェーンを拡大していくため、今後は以下の4つのセグメントに再編成し、戦略および施策等を報告します。



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

事業ポートフォリオ

当社の売上高成長は、収納代行という単一サービスから出発し、
顧客の業務フローに沿った市場拡張の結果として現在のポジションを形成
コアサービスで得た収益をPayBを主軸とした成長投資に振り向け、ポートフォリオを進化させていく



導入期（中長期オプション）	成長期（当面の集中領域）	成熟期（安定収益）
既存顧客・基盤を活かせる将来成長の中核 横展開の再現性が最も高い領域	決済を起点に周辺業務へ拡張可能な基盤となる領域	将来の成長投資の原資を稼ぐ領域

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

競合環境と当社の戦略的ポジショニング

同類他社との比較ではなく、競争軸そのものが違う

当社は単一の決済手段を売る会社ではなく、複数の関係者・決済手段・業務プロセスをつなぐ中立的なHUBです。

EC決済代行・ペイメントゲートウェイ

決済代行・収納代行会社

競争軸 EC・オンライン決済特化、決済処理量、API利便性などで競合する可能性あり

独自性 しかし当社は、金融機関・公共分野に強み。EC専業とは競合領域が異なる

公共・金融インフラ

大手金融SIer

競争軸 勘定系親和性、大規模・長期SI、基幹システムなど大手金融SIerが乱立

独自性 横断的HUBを提供。大手SIerとは補完関係

電子マネー・Pay事業者

電子マネー事業者、QRコード決済事業者

競争軸 利用者基盤、ブランド力、ポイント経済圏など強豪ひしめく環境

独自性 一方で当社は、複数Payを束ねる決済HUBを提供。Pay事業者とも連携

請求・業務DX / SaaS

会計ソフトウェア/SaaS、フィンテックプレイヤー

競争軸 請求～会計UX、バックオフィスDXの効率化という機能で競合するように見えるが…

独自性 当社は、決済実行・金融接続を担う基盤を提供

決済HUB
×
業務プロセス組込み

当社独自のポジショニング

- 単一プレイヤーではなく、決済をつなぐ中立HUB
- 競合企業の多くが顧客・パートナーでもある
- 決済の複雑化・多様化が進むほど価値が高まる

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.

免責事項・お問い合わせについて

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものであり、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向、金利、通貨為替変動等が含まれますが、これらに限られるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

ビリングシステム株式会社　IRに関するお問い合わせ

https://www.billingsystem.co.jp/corpinfo/contact/ir/

こちらのお問い合わせフォームよりお気軽にお問い合わせください

※誠に恐れ入りますが、口頭での齟齬を防ぐためお電話でのお問い合わせはお受けしておりません

ビリングシステム株式会社
IRに関するお問い合わせ

継続的にIRニュースを受信したい方は、ご用件本文に「メール配信希望」と明記の上、お問い合わせください

Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.



Copyright (c) Billing System Corp. All Rights Reserved.